
白井市子育て支援に係るアンケート調査
報告書【概要版】

令和6年6月

目次

1. 調査の概要	1
2. 本報告書の構成	2
3. 結果の概要	3
こどもが権利の主体であること	3
多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり	5
切れ目のない保健・医療の提供	10
こどもの貧困対策	12
障がい児等への支援.....	16
児童虐待防・ヤングケアラーへの支援	18
子どもの自己肯定感・悩みの相談	20
子育てや教育に関する経済的負担の軽減.....	26
地域子育て支援、家庭教育支援	28
子育て支援、共育での推進、男性の家事・子育てへの参画.....	31

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

子どもの生活状況や子どもとの関わり、家庭の状況、また、市の教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望などをうかがい、子どもや若者の支援に役立てるとともに、今後の子育て支援に関する施策を検討するための基礎資料として実施した。

(2) 調査対象

市内在住の就学前児童の保護者

市内在住の小学5年生及び中学2年生とその保護者

(3) 抽出方法

就学前保護者：住民基本台帳より無作為抽出

小学5年生及び中学2年生：全員

(4) 調査期間

令和5年11月27日(月)から12月11日(月)まで

(5) 調査方法

就学前保護者：郵送による配布・回収及びWEB回答を併用

小5・中2保護者：学校を通じて配布・郵送による回収及びWEB回答を併用

小学5年生及び中学2年生：学校を通じて配布・回収

(6) 配布・回収状況

対象	配布数	有効回答数	有効回答率	うちWEB回答数	WEB回答率
就学前保護者	1,515票	908票	59.9%	312票	20.6%
小学5年生・中学2年生保護者	1,243票	624票	50.2%	279票	22.4%
小学5年生	614票	586票	95.4%		
中学2年生	629票	560票	89.0%		

(7) 所得ラインによる分類

小学5年生・中学2年生の保護者及び子ども本人の調査では、必要に応じて、「所得ライン」の上か下かで分類した分析を行っている。小・中学生保護者票問24「可処分所得」の回答により、国が令和4年国民生活基礎調査結果で算出した貧困線を参考に、「所得ライン未満の世帯」「所得ライン以上の世帯」に分類している。

なお、小・中学生調査票については、保護者からの回答があり、親子のマッチングができた場合のみ所得ラインでの比較分析を行っている。

2. 本報告書の構成

次期「しろい子どもプラン」は、国の「こども大綱」を勘案して策定する予定であることから、本報告書では調査全体を合わせて、同大綱の「第3 こども施策に関する重要事項」のうち「1 ライフステージを通じた重要事項」及び「3 子育て当事者への支援に関する重要事項」の内容を参考に構成している。

【参考】

こども大綱 第3 こども施策に関する重要事項

1 ライフステージを通じた重要事項

- (1) こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
- (2) 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり
- (3) こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供
- (4) こどもの貧困対策
- (5) 障害児支援・医療的ケア児等への支援
- (6) 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援
- (7) こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組

3 子育て当事者への支援に関する重要事項

- (1) 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- (2) 地域子育て支援、家庭教育支援
- (3) 共働き・共育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- (4) ひとり親家庭への支援

(こども大綱 令和5年12月22日閣議決定より)

なお、以下、報告書内において調査名は次のように表記している。

就学前保護者：【就学前保護者】

小学5年生・中学2年生保護者：【小5 中2 保護者】

小学5年生・中学2年生：【小5】 【中2】

3. 結果の概要

こどもが権利の主体であること

家族に大切にされていると思うか

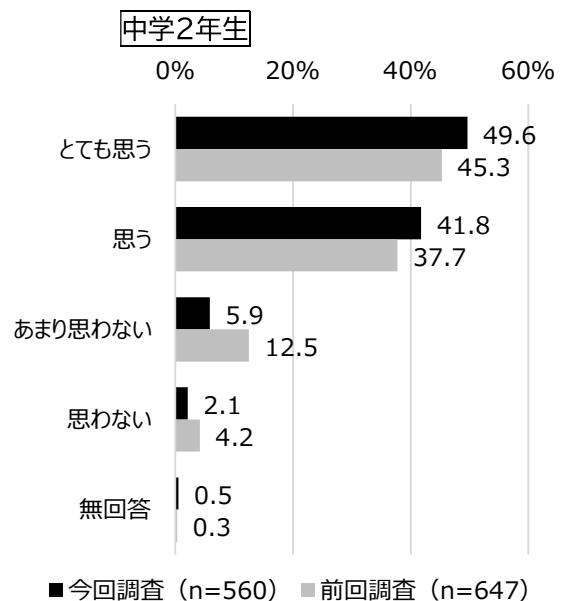
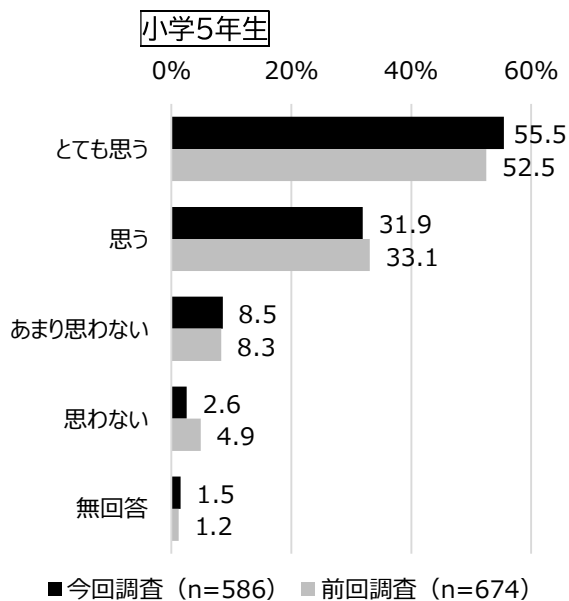
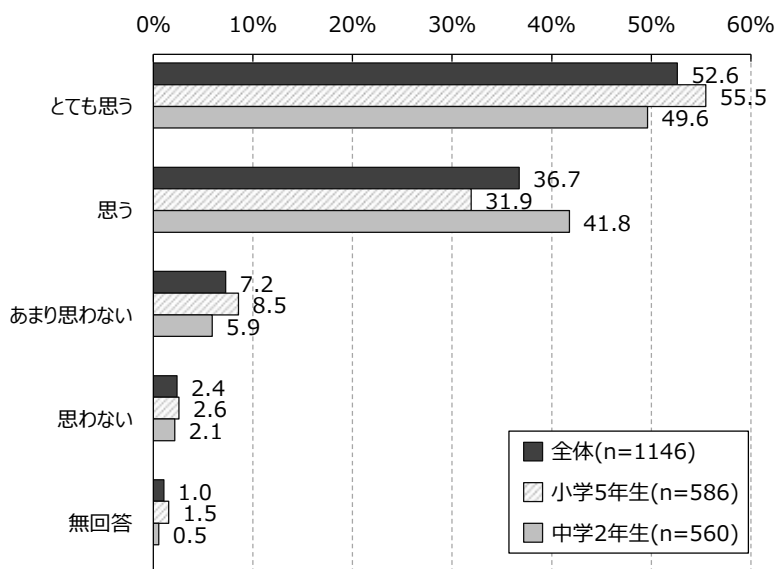
【小5】【中2】

問 19 あなたは、自分のことについてどう思いますか。

④自分は家族に大切にされている

「とても思う」が52.6%と最も多く、「思う」が36.7%、「あまり思わない」が7.2%、「思わない」が2.4%。「あまり思わない」「思わない」とも、小学5年生の方がわずかに中学2年生より多い。

前回調査と比較すると、「とても思う」「思う」ともに中学2年生では4ポイント以上増加しているのに対し、小学5年生では「とても思う」が3.0ポイントの増加、「思う」は1.2ポイントの減少となっている。



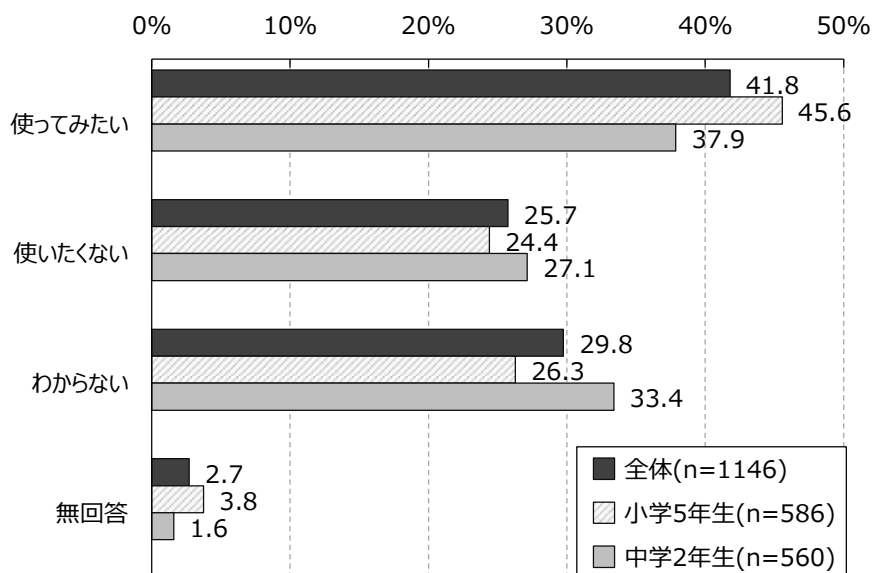
問 23 あなたは、家や学校以外で、次のような場所があれば、使ってみたいと思いますか。

⑧自分のことや友だちのことなど、何でも相談できる人のいる場所

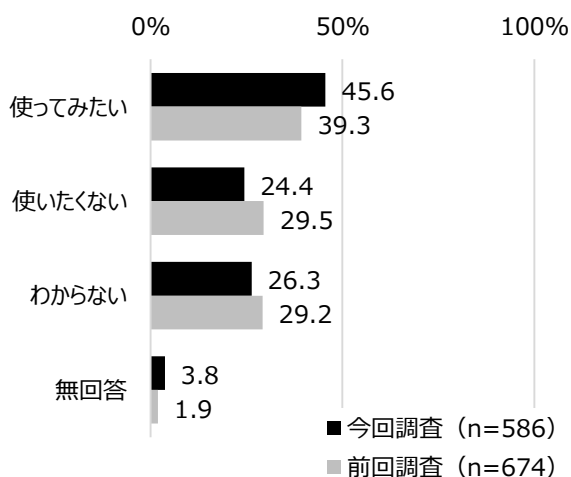
「使ってみたい」が41.8%と最も多く、「わからない」が29.8%、「使いたくない」が25.7%。

「使ってみたい」は小学5年生の方が多い。

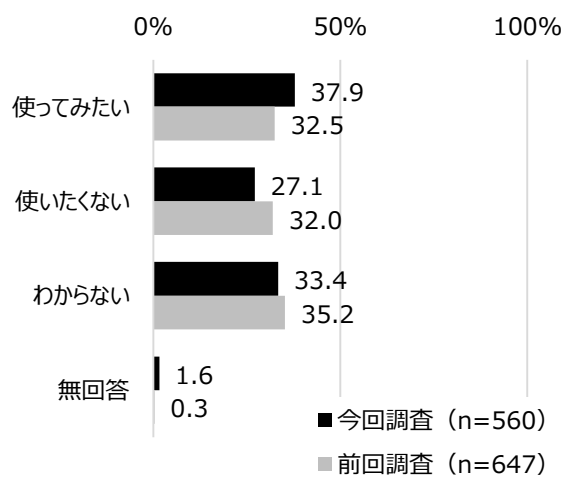
前回調査と比較すると、「使ってみたい」が小学5年生では6.3ポイント、中学2年生では5.4ポイント増加している。



小学5年生



中学2年生



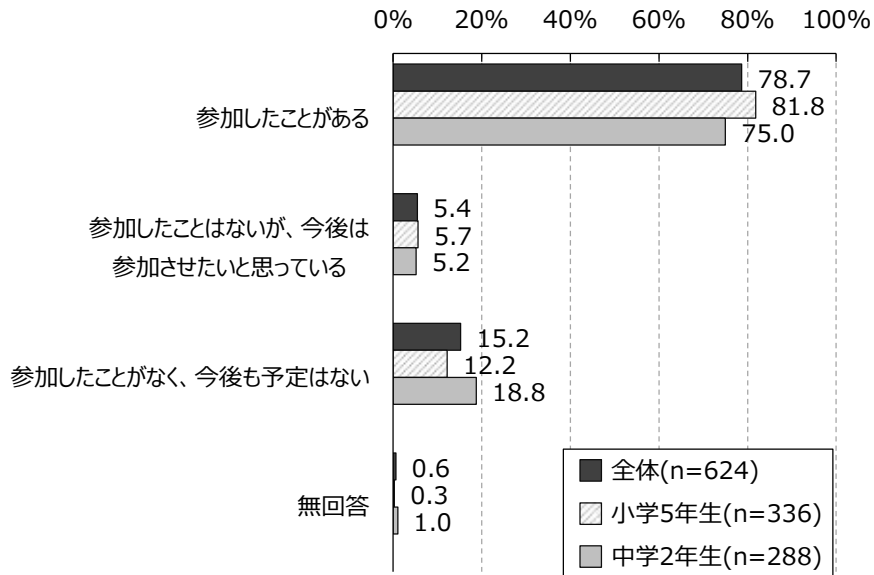
地域の行事やイベントなどへの参加

【小5中2保護者】

問 17 お子さんは住んでいる地域の行事やイベントなどの活動に参加されたことはありますか。

「参加したことがある」が78.7%と最も多く、「参加したことがなく、今後も予定はない」が15.2%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」が5.4%。

「参加したことがなく、今後も予定はない」は中学2年生（18.8%）が小学5年生（12.2%）よりも多くなっている。



地域行事などへの参加経験と保護者が今後参加させたい活動

【小5中2保護者】

問 17-1 お子さんが参加したことがある地域行事などの活動の種類は何ですか。(複数回答)

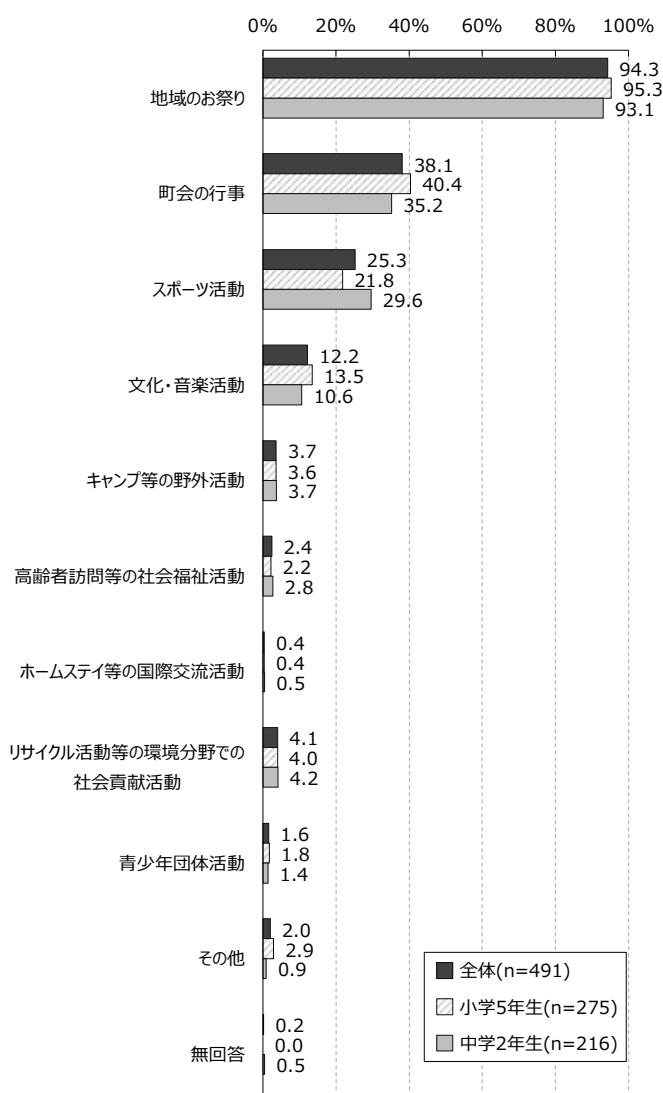
問 17-2 今後お子さんを参加させたい地域行事などの活動の種類は何ですか。(複数回答)

参加経験では「地域のお祭り」が94.3%と最も多く、「町会の行事」が38.1%、「スポーツ活動」が25.3%、「文化・音楽活動」が12.2%。

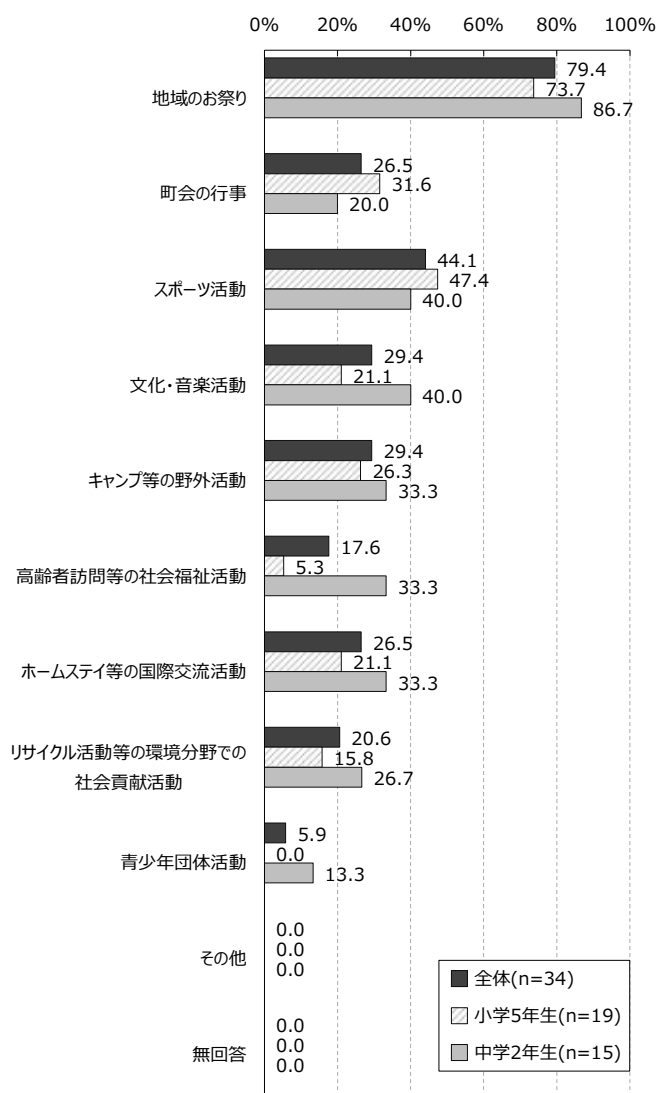
今後参加させたい活動では「地域のお祭り」が79.4%と最も多く、「スポーツ活動」が44.1%、「文化・音楽活動」「キャンプ等の野外活動」が29.4%、「町会の行事」が26.5%。

総じて、保護者が子どもを今後参加させたいと考える活動は参加経験よりも多岐にわたっている。

参加したことがある



今後参加させたい



問 24 あなたは、次のようなことを体験したことがありますか。また、今後体験してみたいと思いますか。

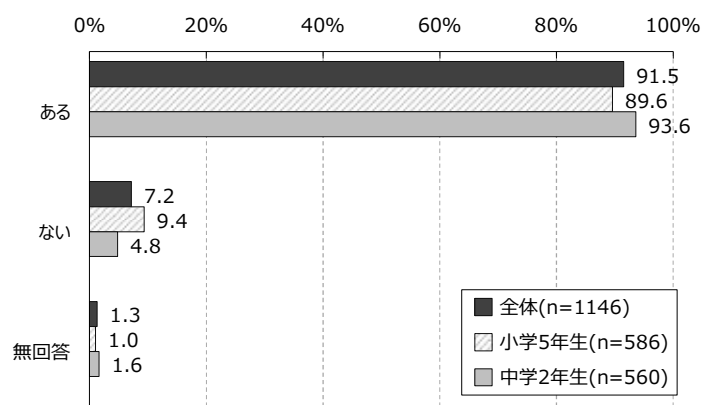
⑤地域のお祭りやスポーツ大会

「地域のお祭り」「スポーツ活動」は保護者が今後子どもを参加させたいと考える活動の上位1位と2位だった。

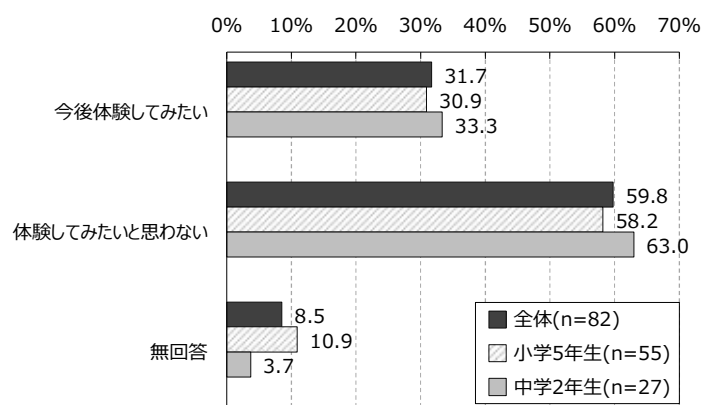
子ども自身の体験は「ある」が91.5%、「ない」が7.2%。参加経験がない子どもの今後の意向は「今後体験してみたい」が31.7%、「体験してみたいと思わない」が59.8%となっている。

「体験してみたいと思わない」は、小学5年生（58.2%）より中学2年生（63.0%）の方が多

これまでの体験



今後の意向



問 24 あなたは、次のようなことを体験したことがありますか。また、今後体験してみたいと思いますか。

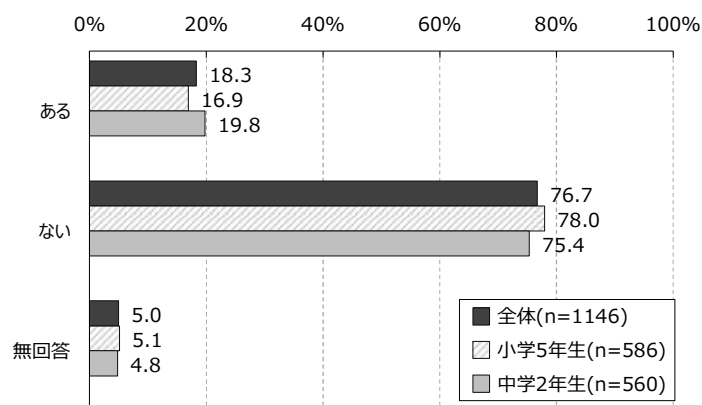
⑧障がいがある人、小さい子どもやお年よりなどのお世話

「高齢者訪問等の社会福祉活動」は保護者が今後子どもを参加させたい活動において94.3%の「地域のお祭り」に対し17.6%と低い。

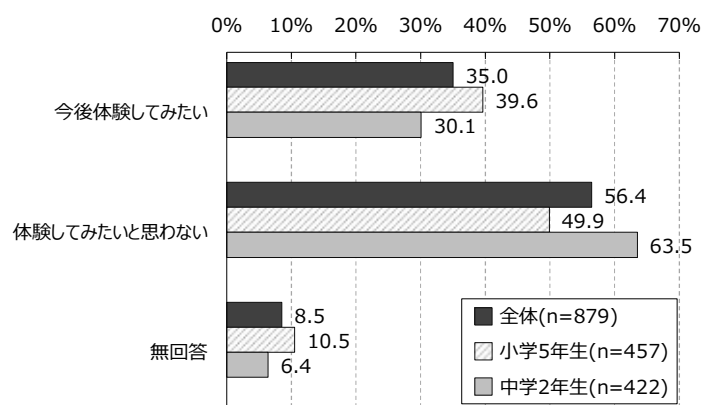
子どもへの質問で近似の回答となる「障がいがある人、小さい子どもやお年よりなどのお世話」の体験は「ある」が18.3%、「ない」が76.7%。参加経験がない子どもの今後の意向は「今後体験してみたい」が35.0%、「体験してみたいと思わない」が56.4%となっている。参加経験のない子どもは多いが、参加経験がない子どもの参加意向は、保護者が参加させたいと考えている「地域のお祭り」「スポーツ大会」よりわずかではあるものの高くなっている。

社会貢献や福祉の活動は、保護者の「今後参加させたい」と、子ども自身の「今後体験してみたい」に差がみられる一例と言える。

これまでの体験



今後の意向



問 17-1 お子さんが参加したことがある地域行事などの活動の種類は何ですか。(複数回答)

参加したことがある活動の種類を所得ライン別にみると、「地域のお祭り」では所得ライン未満の世帯に比べ所得ライン以上の世帯が 8.8 ポイント高く、「町会の行事」では所得ライン以上の世帯に比べ所得ライン未満の世帯が 6.9 ポイント高くなっている。

	合計	地域のお祭り	町会の行事	スポーツ活動	文化・音楽活動	キャンプ等の野外活動
全体	491	94.3	38.1	25.3	12.2	3.7
所得ライン未満の世帯	29	86.2	44.8	20.7	10.3	3.4
所得ライン以上の世帯	417	95.0	37.9	25.9	12.2	3.8

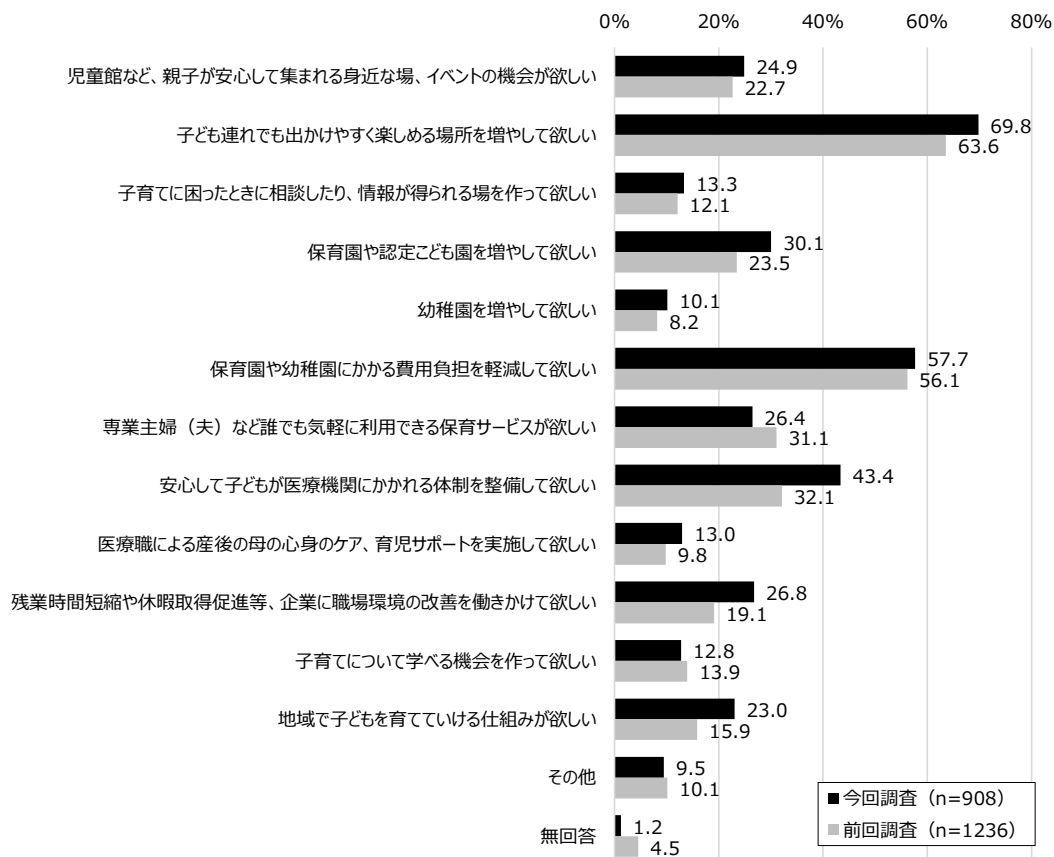
	高齢者訪問等の社会福祉活動	ホームステイ等の国際交流活動	リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	青少年団体活動	その他	無回答
全体	2.4	0.4	4.1	1.6	2.0	0.2
所得ライン未満の世帯	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0
所得ライン以上の世帯	2.6	0.5	4.6	1.4	2.2	0.0

医療機関にかかれる体制整備の充実

【就学前保護者】

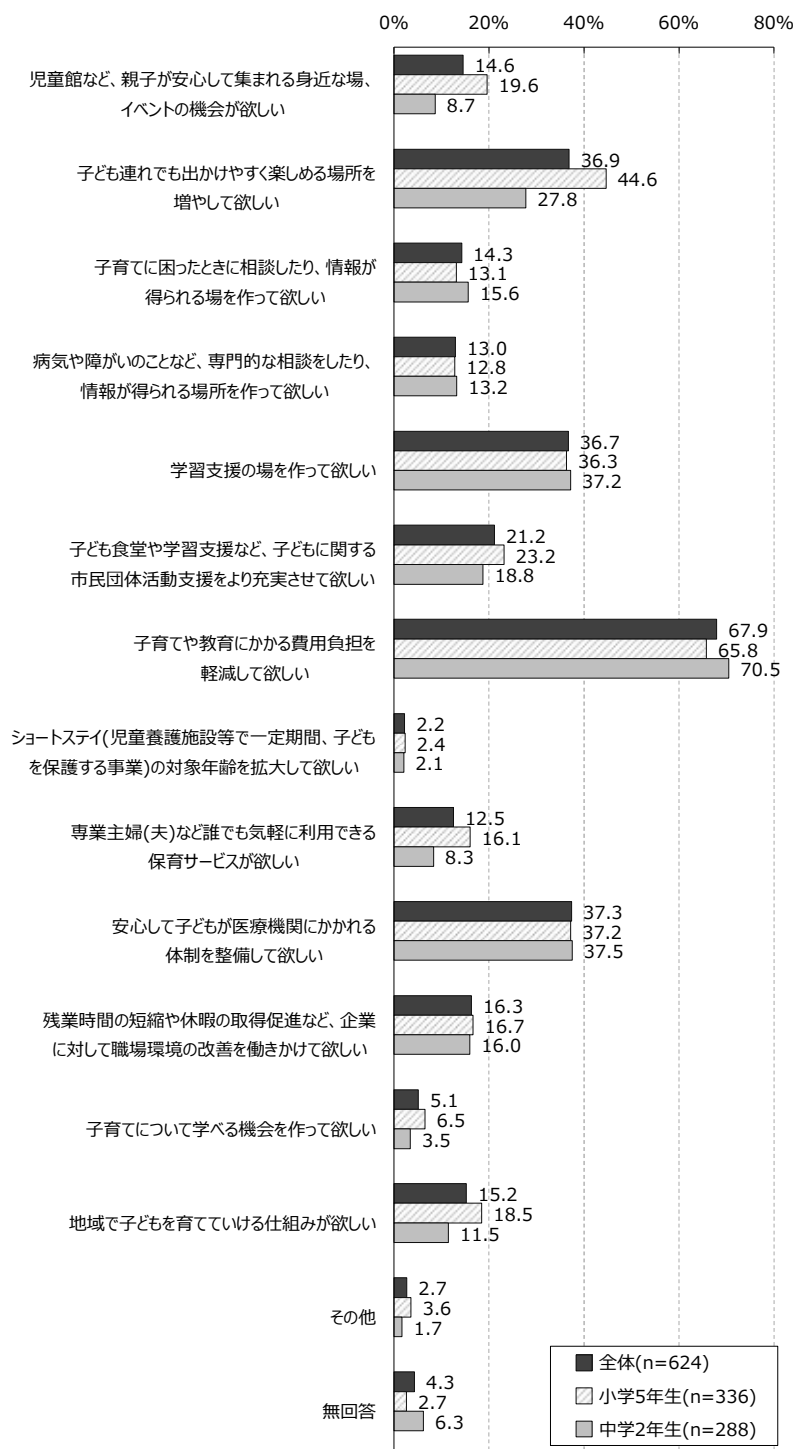
問 41 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。（複数回答）

「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が69.8%と最も多く、「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が57.7%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が43.4%。就学前保護者では、子どもと一緒に出かけられる場所への希望が第1位となるが、医療機関にかかれる体制の整備も第3位、割合としては就学後の子どもの保護者における回答よりも多く、かつ前回調査より11.3ポイント増加となっている。



問 30 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(複数回答)

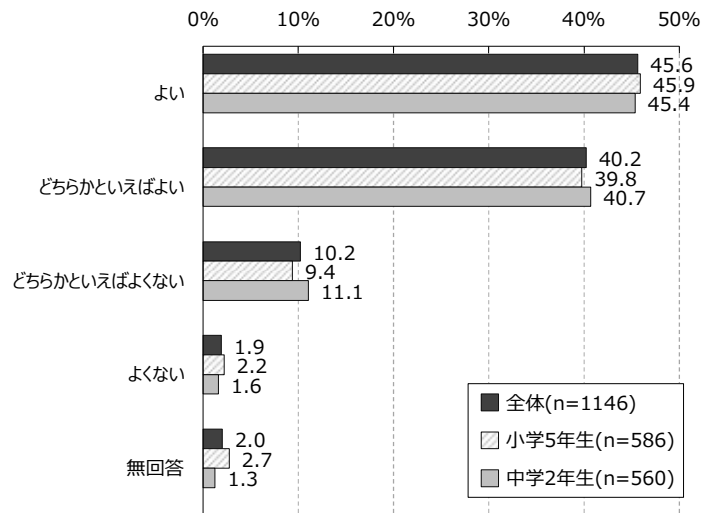
具体的な内容の13項目の中で、「子育てや教育にかかる費用負担を軽減して欲しい」が67.9%と最も多く、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が37.3%で第2位となっている。「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」は子どもの年齢層による違いもほとんどみられず、小学生、中学生の保護者ともに求められている事項と考えられる。



問6 あなたは自分の健康状態についてどう感じていますか。

「よい」が45.6%と最も多く、「どちらかといえばよい」が40.2%、「どちらかといえばよくない」が10.2%、「よくない」が1.9%。

所得ライン別にみると、小学5年生、中学2年生ともに「どちらかといえばよくない」「よくない」で所得ライン未満の世帯が高くなっている。



小学5年生

	合計	よい	どちらかとい えばよい	どちらかとい えばよくない	よくない	無回答
全体	586	45.9	39.8	9.4	2.2	2.7
所得ライン未満の世帯	28	42.9	25.0	17.9	3.6	10.7
所得ライン以上の世帯	274	46.4	42.0	9.1	1.1	1.5

中学2年生

	合計	よい	どちらかとい えばよい	どちらかとい えばよくない	よくない	無回答
全体	560	45.4	40.7	11.1	1.6	1.3
所得ライン未満の世帯	15	66.7	13.3	13.3	6.7	0.0
所得ライン以上の世帯	234	46.2	44.0	7.7	0.4	1.7

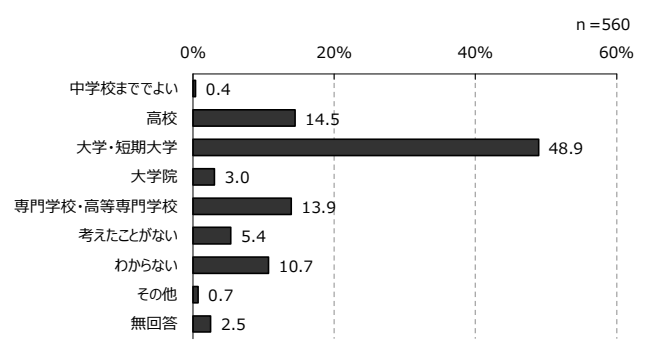
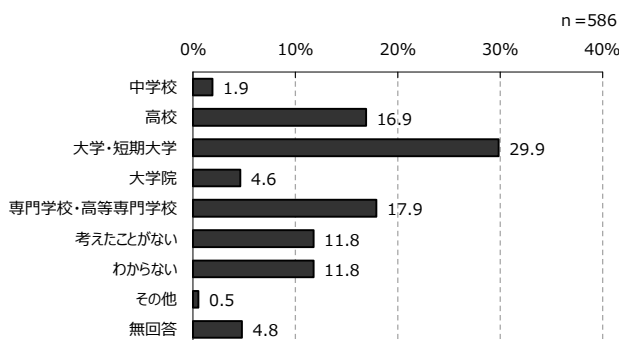
問 22 将来どこまでの学校に行きたいと思っていますか。

小学5年生では「大学・短期大学」が29.9%と最も多く、「専門学校・高等専門学校」が17.9%、「高校」が16.9%、「考えたことがない」が11.8%、「わからない」が11.8%。所得ライン別の進学希望では、「中学校」「高校」「大学院」「専門学校・高等専門学校」で所得ライン未満の世帯が高くなっている。

中学2年生では「大学・短期大学」が48.9%と最も多く、次いで「高校」が14.5%、「専門学校・高等専門学校」が13.9%、「わからない」が10.7%、「考えたことがない」が5.4%。所得ライン別の進学希望では、「中学校まででよい」、「高校」、「わからない」で所得ライン未満の世帯が高くなっている。

小学5年生

中学2年生



小学5年生

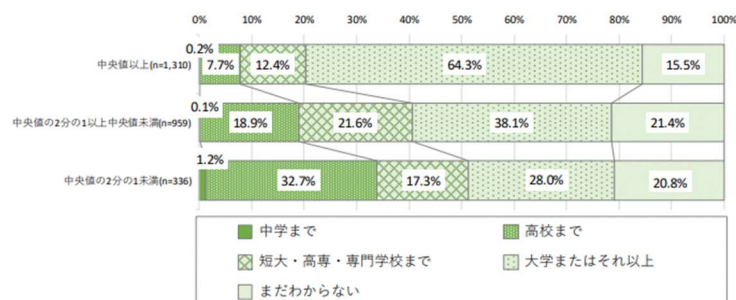
	合計	中学校	高校	大学・短期大学	大学院	専門学校・高等専門学校	考えたことがない	わからない	その他	無回答
全体	586	1.9	16.9	29.9	4.6	17.9	11.8	11.8	0.5	4.8
所得ライン未満の世帯	28	7.1	25.0	17.9	3.6	21.4	10.7	3.6	0.0	10.7
所得ライン以上の世帯	274	0.7	15.0	32.5	3.3	20.4	12.8	12.0	0.0	3.3

中学2年生

	合計	中学校まででよい	高校	大学・短期大学	大学院	専門学校・高等専門学校	考えたことがない	わからない	その他	無回答
全体	560	0.4	14.5	48.9	3.0	13.9	5.4	10.7	0.7	2.5
所得ライン未満の世帯	15	6.7	20.0	33.3	0.0	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7
所得ライン以上の世帯	234	0.4	12.8	50.9	2.6	14.5	7.3	10.3	0.0	1.3

【参考】

進学したいと思う教育段階（中学生）

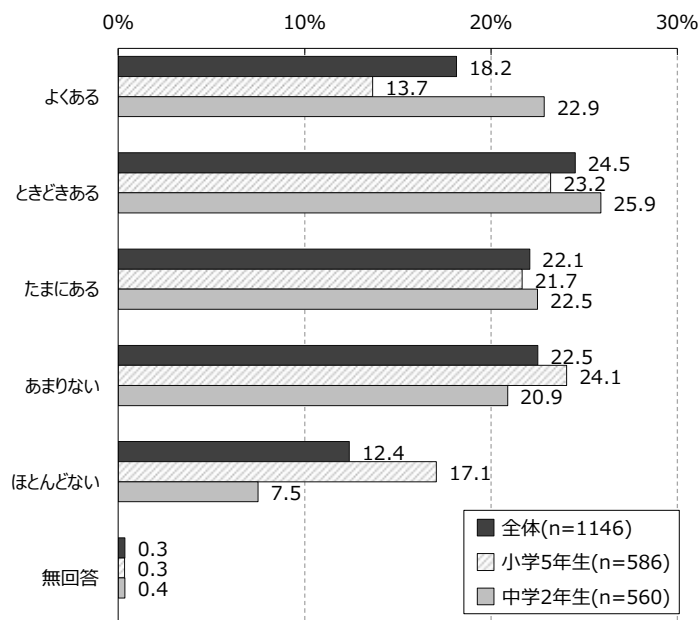


(令和3年 子供の生活状況調査(令和3年12月 内閣府))

問 14 学校の勉強でわからないことがありますか。

「ときどきある」が24.5%と最も多く、「あまりない」が22.5%、「たまにある」が22.1%、「よくある」が18.2%、「ほとんどない」が12.4%。

所得ライン別にみると、小学5年生では「よくある」で所得ライン未満の世帯が高くなっている。中学2年生では「ときどきある」で所得ライン未満の世帯が高くなっている。



小学5年生

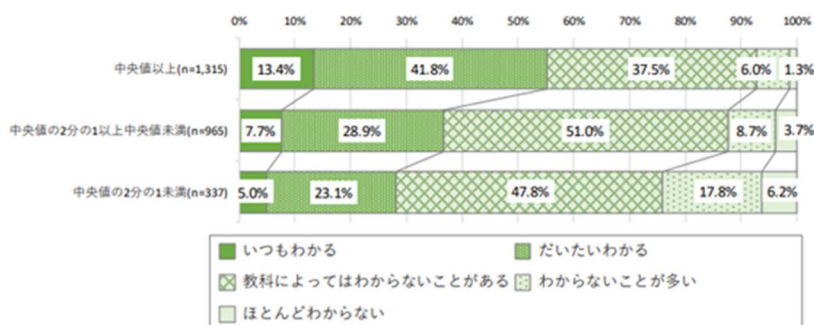
	合計	よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	ほとんどない	無回答
全体	586	13.7	23.2	21.7	24.1	17.1	0.3
所得ライン未満の世帯	28	21.4	17.9	21.4	21.4	14.3	3.6
所得ライン以上の世帯	274	14.2	22.6	19.7	23.4	20.1	0.0

中学2年生

	合計	よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	ほとんどない	無回答
全体	560	22.9	25.9	22.5	20.9	7.5	0.4
所得ライン未満の世帯	15	20.0	33.3	20.0	26.7	0.0	0.0
所得ライン以上の世帯	234	18.8	23.9	24.4	24.4	8.1	0.4

【参考】

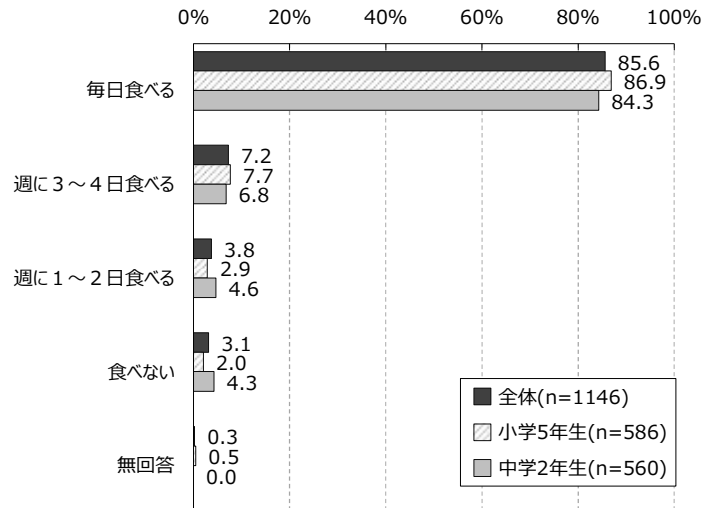
授業の理解状況（中学生）



(令和3年 子供の生活状況調査(令和3年12月 内閣府))

問3 平日（学校に行く日）、朝食を食べますか。

「毎日食べる」が85.6%と最も多く、「週に3～4日食べる」が7.2%、「週に1～2日食べる」が3.8%、「食べない」が3.1%。朝食を食べない子が小学5年生では2.0%のところ、中学2年生では4.3%となっている。所得ライン別にみると、小学5年生は、「週に3～4日食べる」「食べない」で所得ライン未満の世帯が高く、中学2年生は、「食べない」で所得ライン未満の世帯が高くなっている。



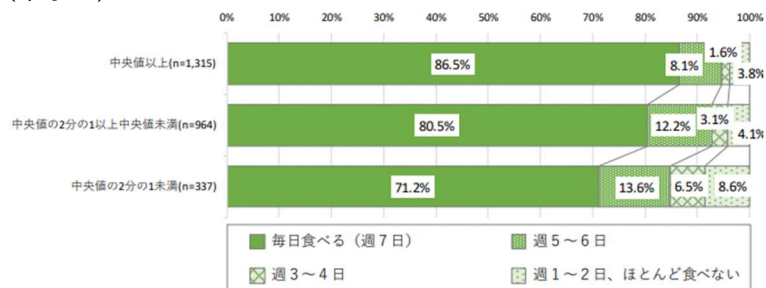
小学5年生

	合計	毎日食べる	週に3～4日食べる	週に1～2日食べる	食べない	無回答
全体	586	86.9	7.7	2.9	2.0	0.5
所得ライン未満の世帯	28	75.0	17.9	0.0	3.6	3.6
所得ライン以上の世帯	274	89.8	5.5	3.3	1.5	0.0

中学2年生

	合計	毎日食べる	週に3～4日食べる	週に1～2日食べる	食べない	無回答
全体	560	84.3	6.8	4.6	4.3	0.0
所得ライン未満の世帯	15	86.7	6.7	0.0	6.7	0.0
所得ライン以上の世帯	234	87.2	5.6	3.8	3.4	0.0

【参考】朝食の摂取（中学生）



(令和3年 子供の生活状況調査 内閣府)

子育てに関して日常悩んでいること、または気になること

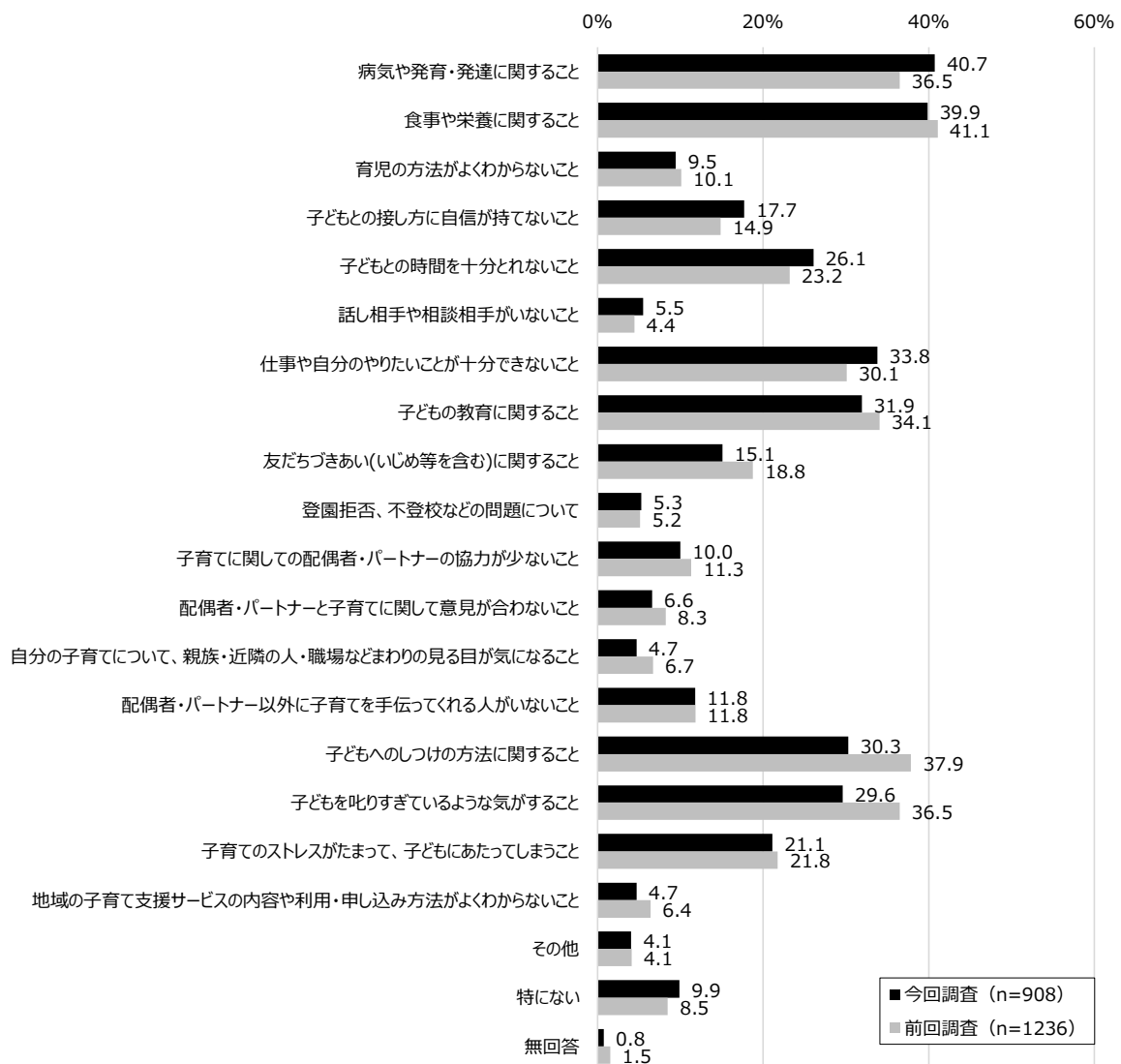
【就学前保護者】

問 38 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

(複数回答)

「病気や発育・発達に関すること」が40.7%と最も多く、「食事や栄養に関すること」が39.9%、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が33.8%、「子どもの教育に関すること」が31.9%、「子どもへのしつけの方法に関すること」が30.3%。

前回調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」が増加し、しつけに関することは減少している。



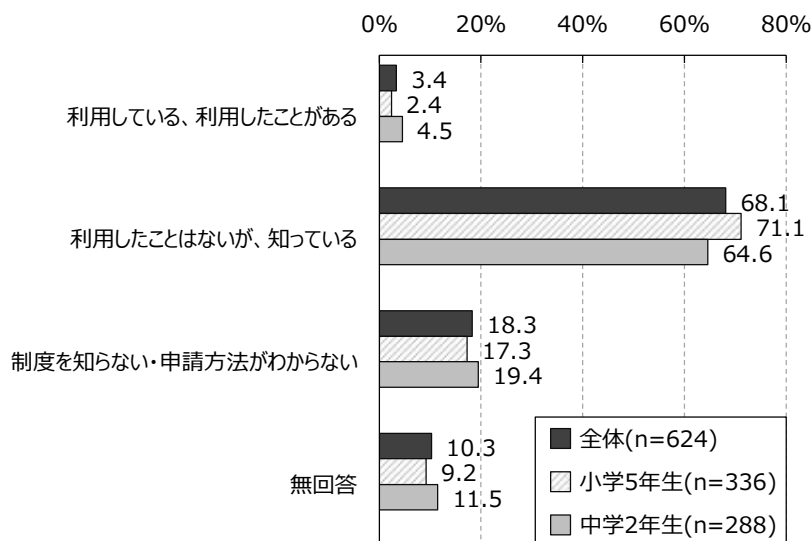
公的制度の利用

【小5中2保護者】

問 27 あなたの世帯では、次の公的制度を利用したことがありますか。

⑤ 障がいや難病の手当（特別児童扶養手当）

「利用したことはないが、知っている」が68.1%と最も多く、「制度を知らない・申請方法がわからない」が18.3%。「制度を知らない・申請方法がわからない」人が18%を超えている。



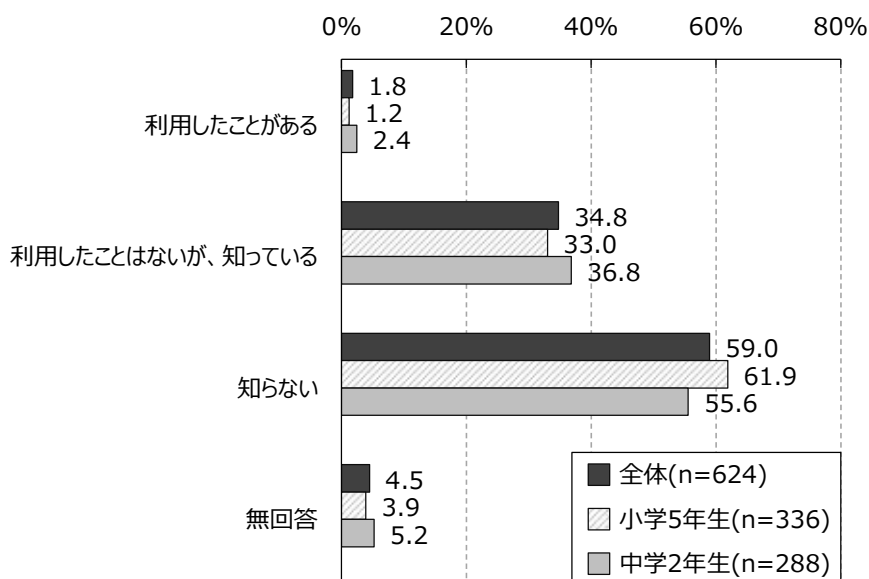
事業の利用

【小5中2保護者】

問 28 事業のそれぞれについて、「現在の利用状況」のあてはまる番号1つに○をつけてください。

⑨ 障害福祉サービス（放課後等デイサービスを除く）

「知らない」が59.0%と最も多く、「利用したことはないが、知っている」が34.8%、「利用したことがある」が1.8%。「知らない」人が6割近くとなっている。



子育てに関して日常悩んでいること、または気になること

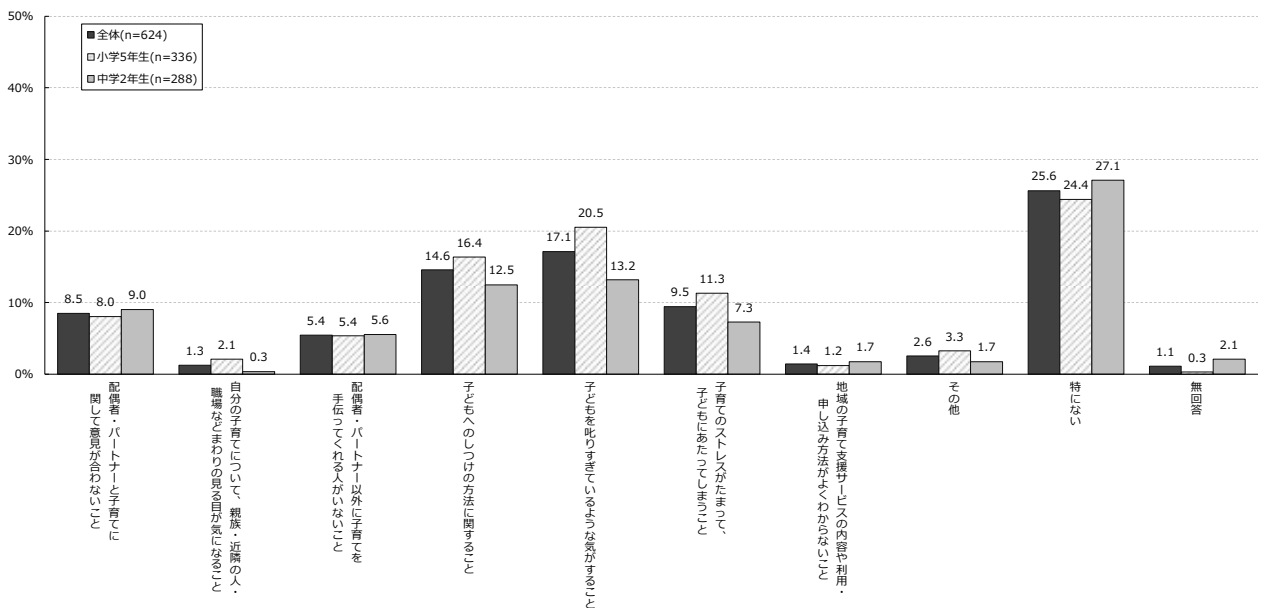
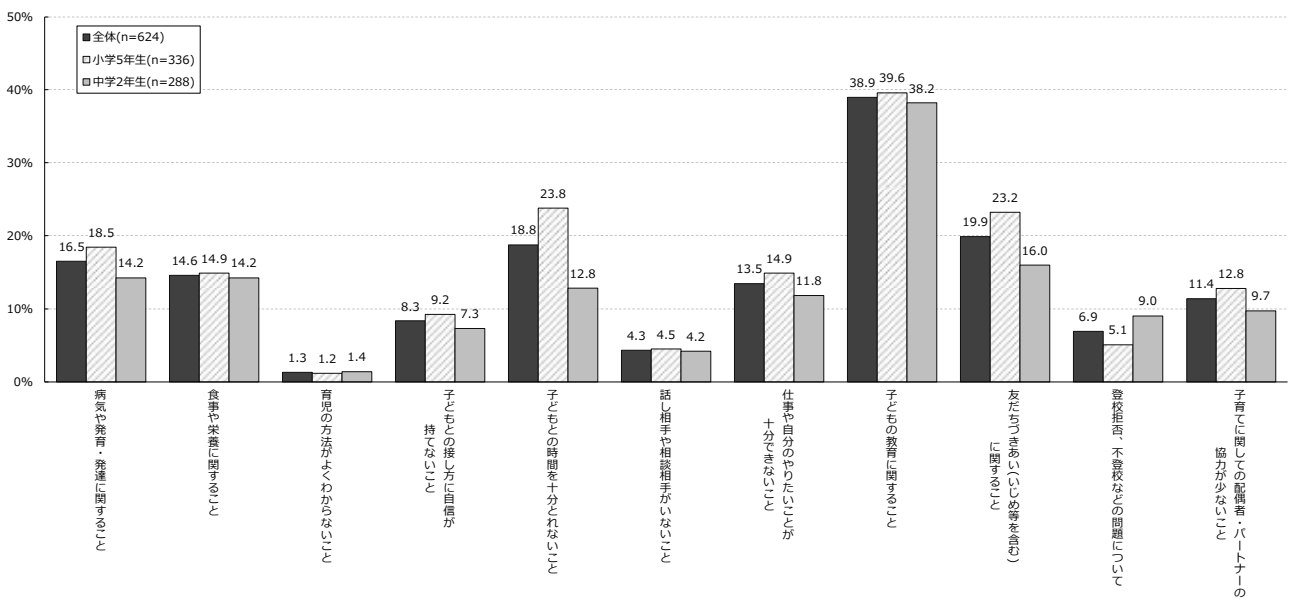
【小5中2保護者】

問 18 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

(複数回答)

「子どもの教育に関すること」が38.9%と最も多く、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が19.9%、「子どもとの時間を十分とれないこと」が18.8%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と17.1%。

「子どもを叱りすぎているような気がする」と「子育てのストレスがたまって子どもにあたってしまうこと」「子どもとの接し方に自信が持てないこと」は、いずれも中2保護者より小5保護者の方で割合が高い。



問9 おうちに、あなたがお世話をしている家族はいますか。(複数回答)

「お世話をしている家族はいない」が65.2%と最も多い。いる場合の対象は「兄弟・姉妹」が16.5%、「お母さん」が8.5%、「その他」が8.3%、「お父さん」が5.1%となっている。その他への記入では犬、ねこ、といった内容もみられ、ペットも家族ととらえていることがうかがえる。

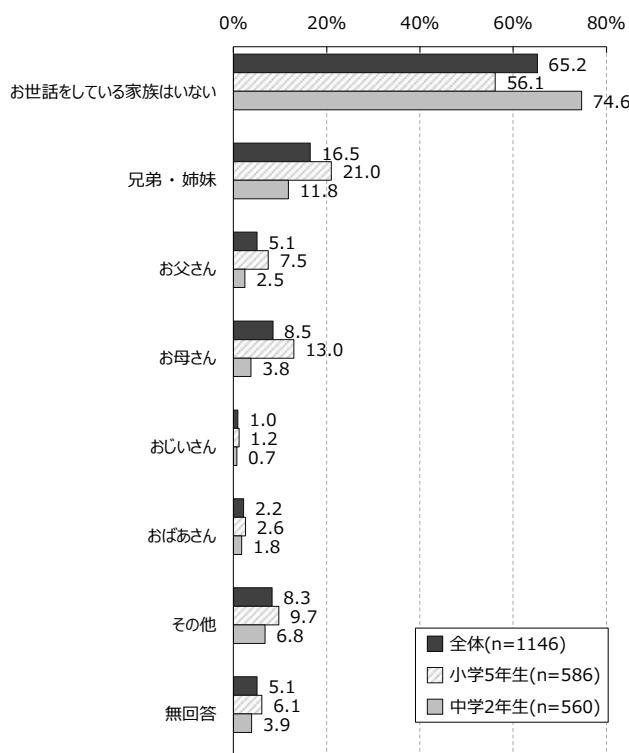
問9で「世話をしている人がいる」人の世話の内容

問9-1 どのようなお世話をしていますか。(複数回答)

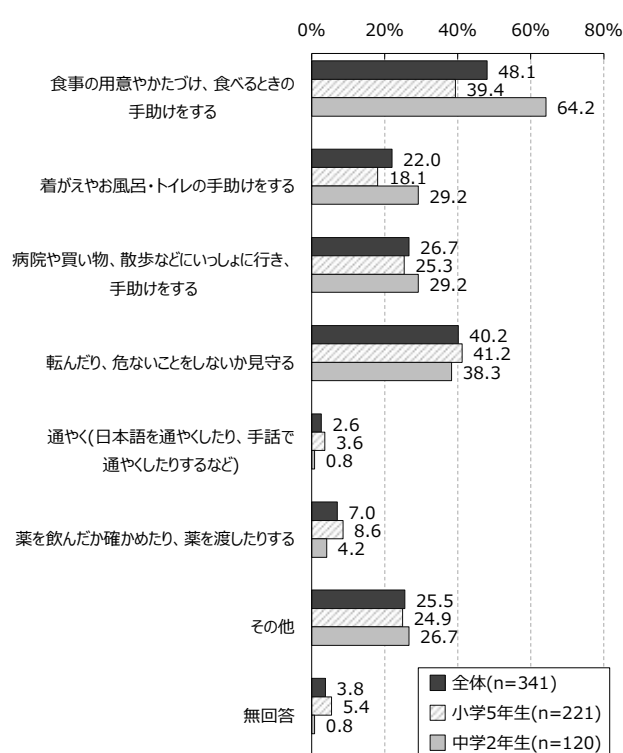
「食事の用意やかたづけ、食べる時の手助けをする」が48.1%、「転んだり、危ないことをしないか見守る」が40.2%、「病院や買い物、散歩などによいしょに行き、手助けをする」が26.7%、「着がえやお風呂・トイレの手助けをする」が22.0%。

お世話をしている家族がいる場合でも、その対象で兄弟・姉妹が多いことは、小5・中2保護者への調査における同居家族の設問(問5)で、祖父が3.8%、祖母が7.2%と、子どもと祖父・祖母の同居が少ない状況にあることにもよると思われる。

家族の世話の有無



世話の内容

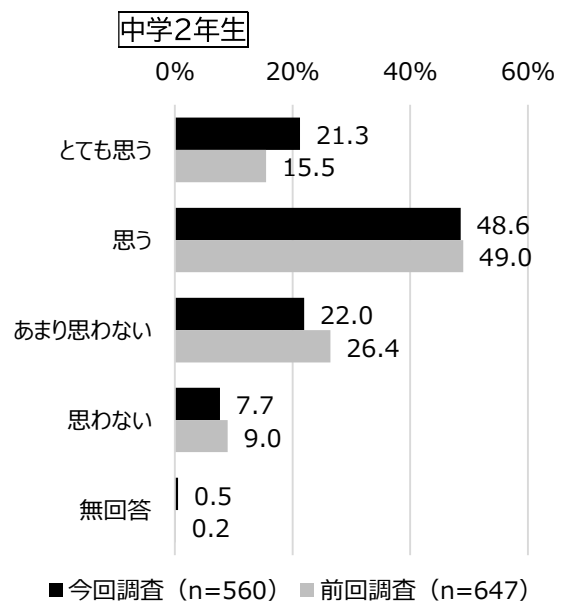
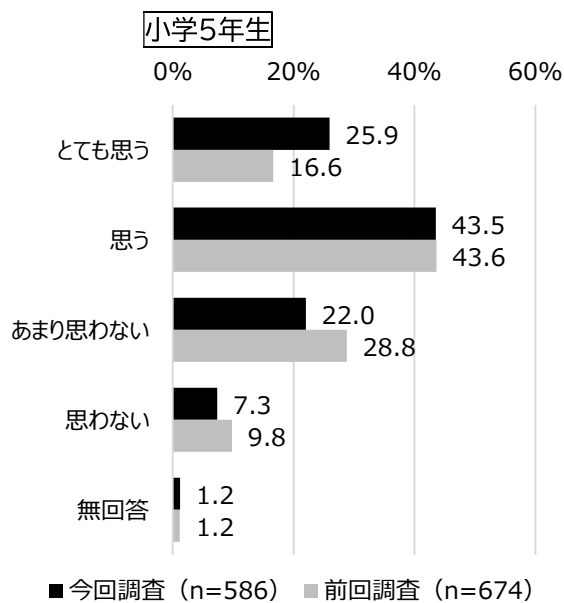
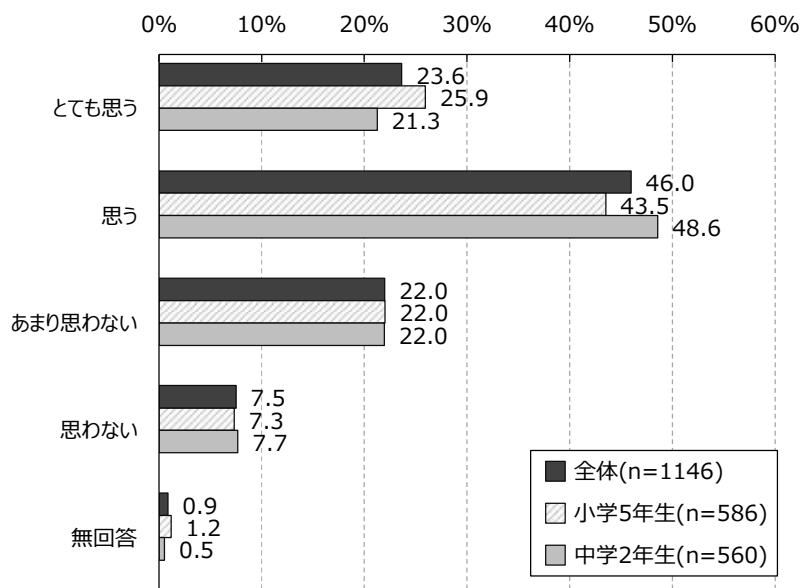


問 19 あなたは、自分のことについてどう思いますか。

①自分には良いところがある

「思う」が46.0%と最も多く、「とても思う」が23.6%、「あまり思わない」が22.0%、「思わない」が7.5%。

前回調査と比較すると、「とても思う」は小学5年生で9.3ポイント、中学2年生で5.8ポイント増加している。また、「あまり思わない」「思わない」は、小学5年生、中学2年生ともに減少となっている。

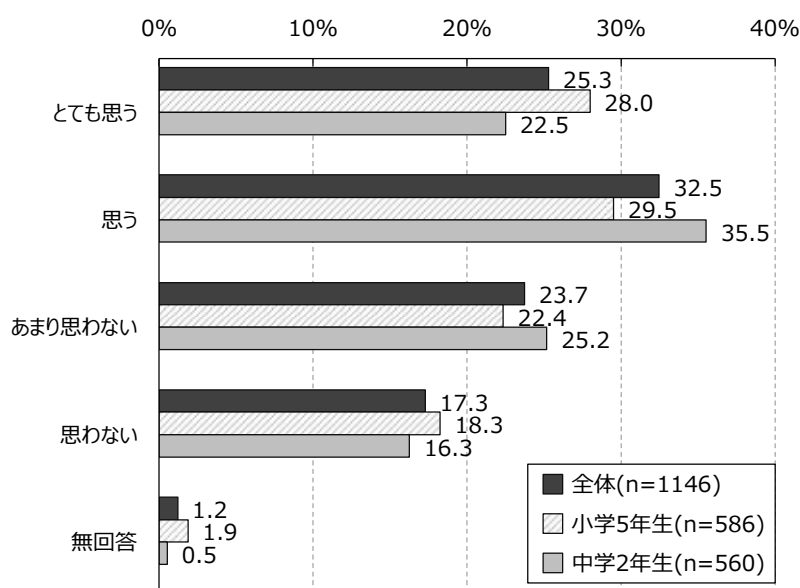


問 19 あなたは、自分のことについてどう思いますか。

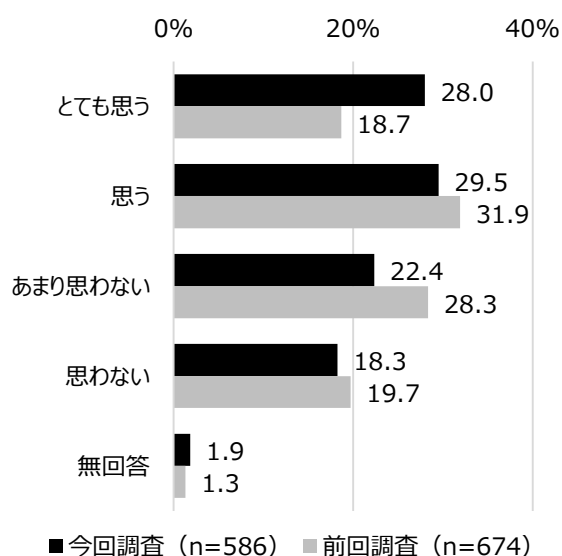
⑥自分のことが好きである

「思う」が32.5%と最も多く、「とても思う」が25.3%、「あまり思わない」が23.7%、「思わない」が17.3%。「①自分には良いところがある」と比べると「思わない」の割合が約10ポイント多い。

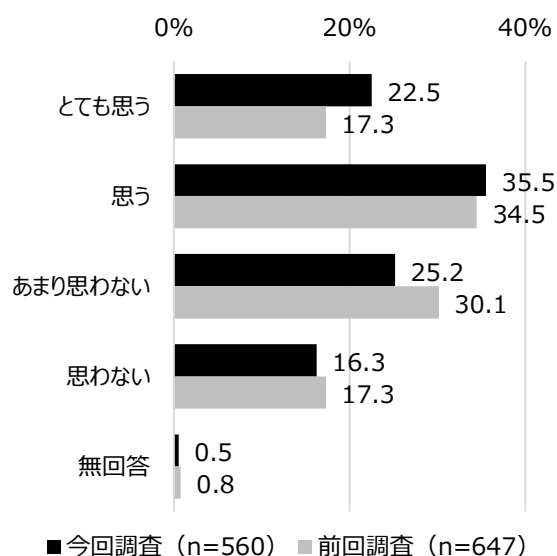
前回調査と比較すると、「とても思う」は小学5年生で9.3ポイント、中学2年生で5.2ポイント増加している。また、「あまり思わない」「思わない」は、小学5年生、中学2年生ともに減少となっている。



小学5年生

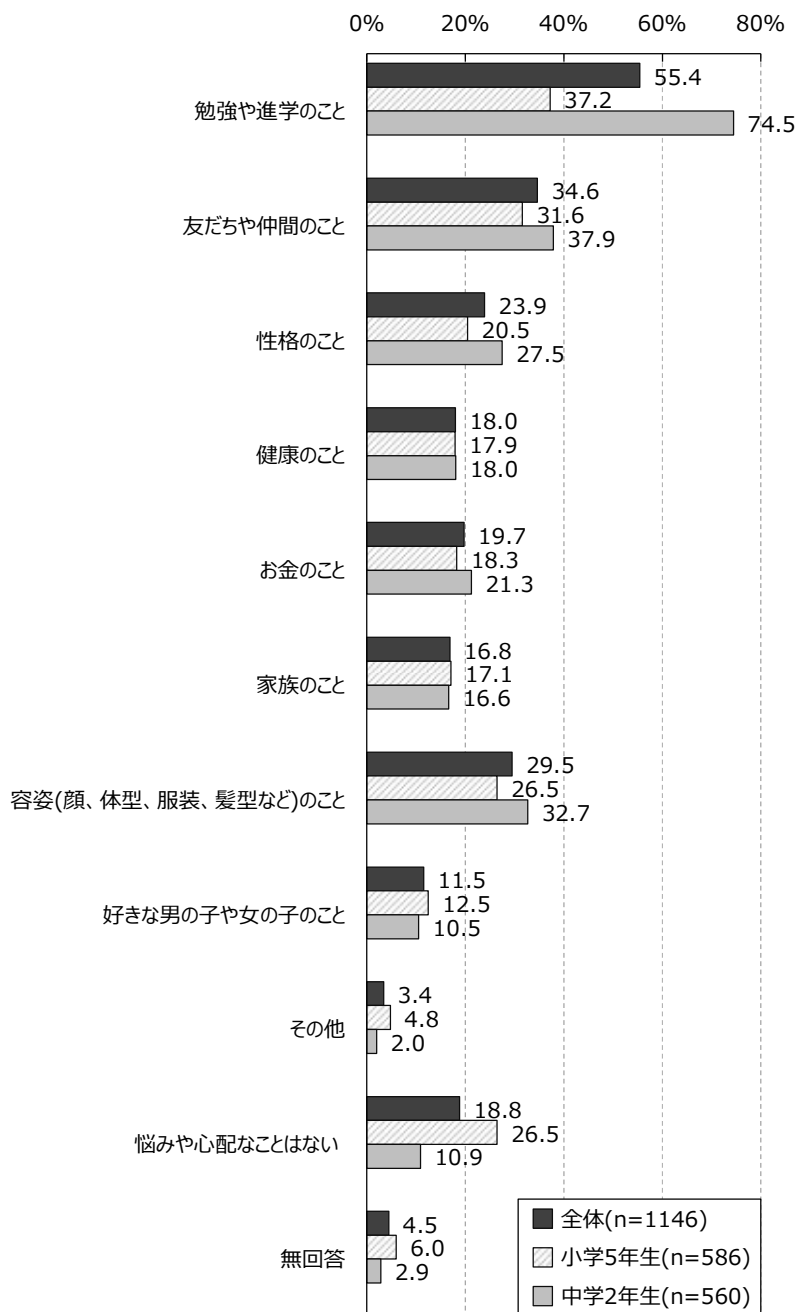


中学2年生



問 20 次のような悩みや心配ごとがありますか。(複数回答)

「勉強や進学のこと」が55.4%と最も多く、「友だちや仲間のこと」が34.6%、「容姿(顔、体型、服装、髪型など)のこと」が29.5%、「性格のこと」が23.9%、「お金のこと」が19.7%。「勉強や進学のこと」への悩みは小学5年生では37.2%だが、中学2年生では74.5%となっている。



【参考】その他の主な記入内容

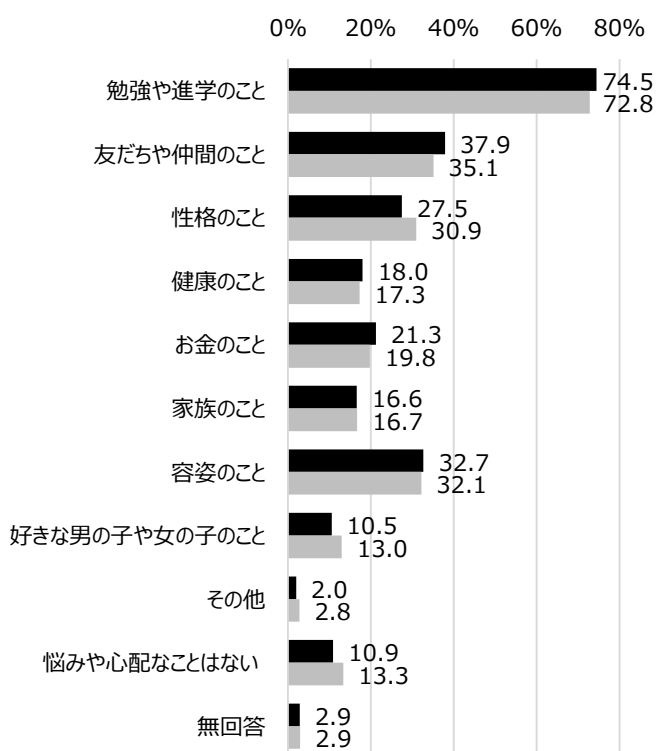
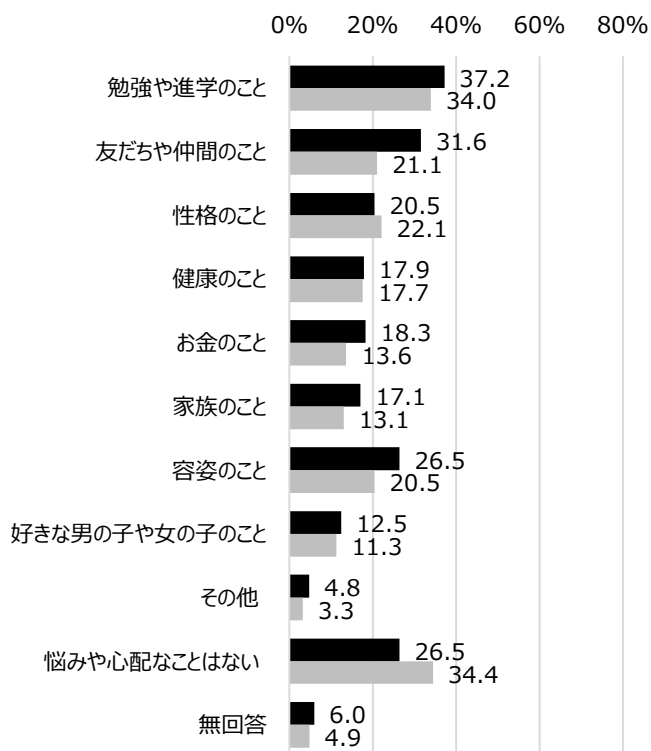
【小学5年生】スポーツのこと/ペットのこと/将来の生活のこと/仕事のこと/人との関わり など
 【中学2年生】部活のこと/周りからの印象、評価のこと/安全のこと など

前回調査と比較すると、小学5年生では、友だちや仲間のことへの悩みや心配ごとが10.5ポイント増加し、悩みや心配なことはないとの回答は7.9ポイント減少している。

中学2年生では、前回調査と大きな傾向の変化はみられず、前回同様に勉強や進学のことへの悩みの割合が高くなっている。

小学5年生

中学2年生



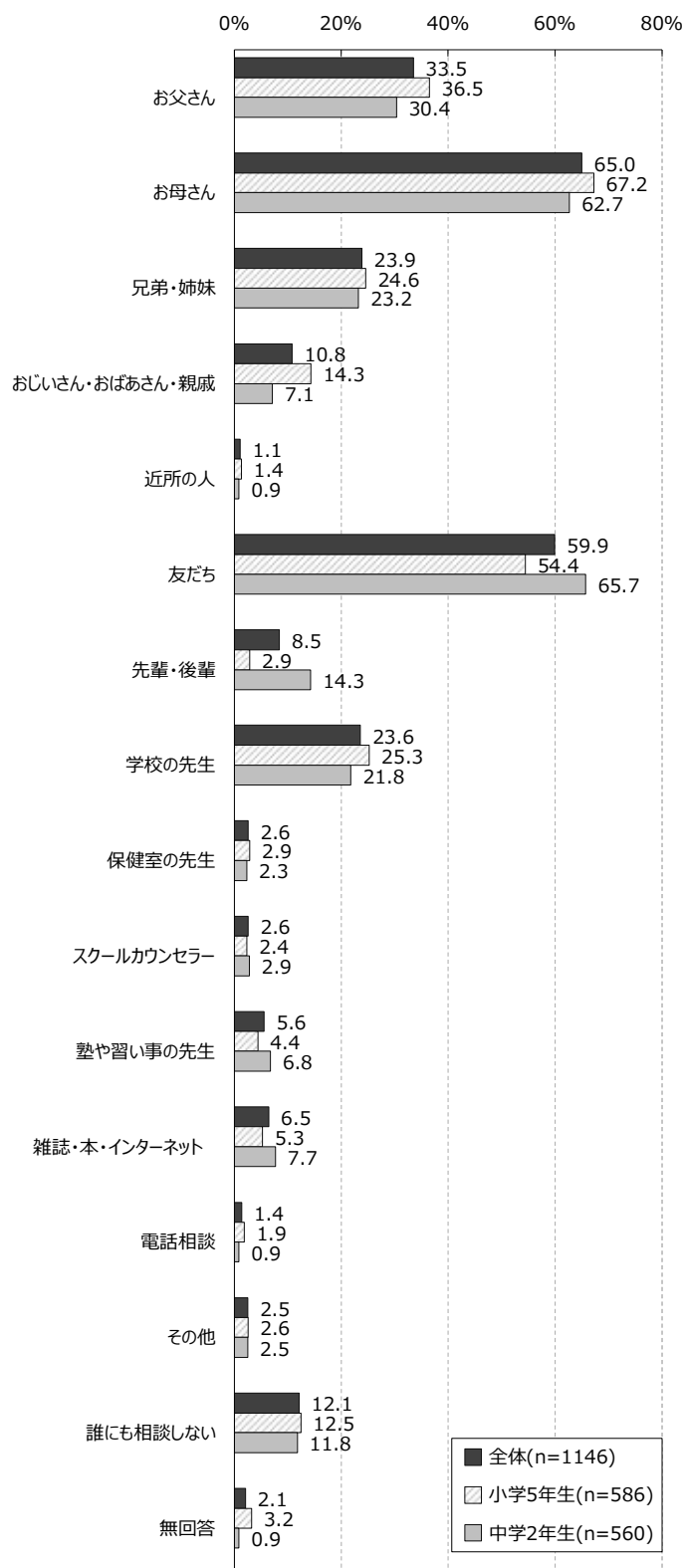
■ 今回調査 (n=586) ■ 前回調査 (n=674)

■ 今回調査 (n=560) ■ 前回調査 (n=647)

問 21 困ったことや悩みがあるとき、相談する人は誰ですか。(複数回答)

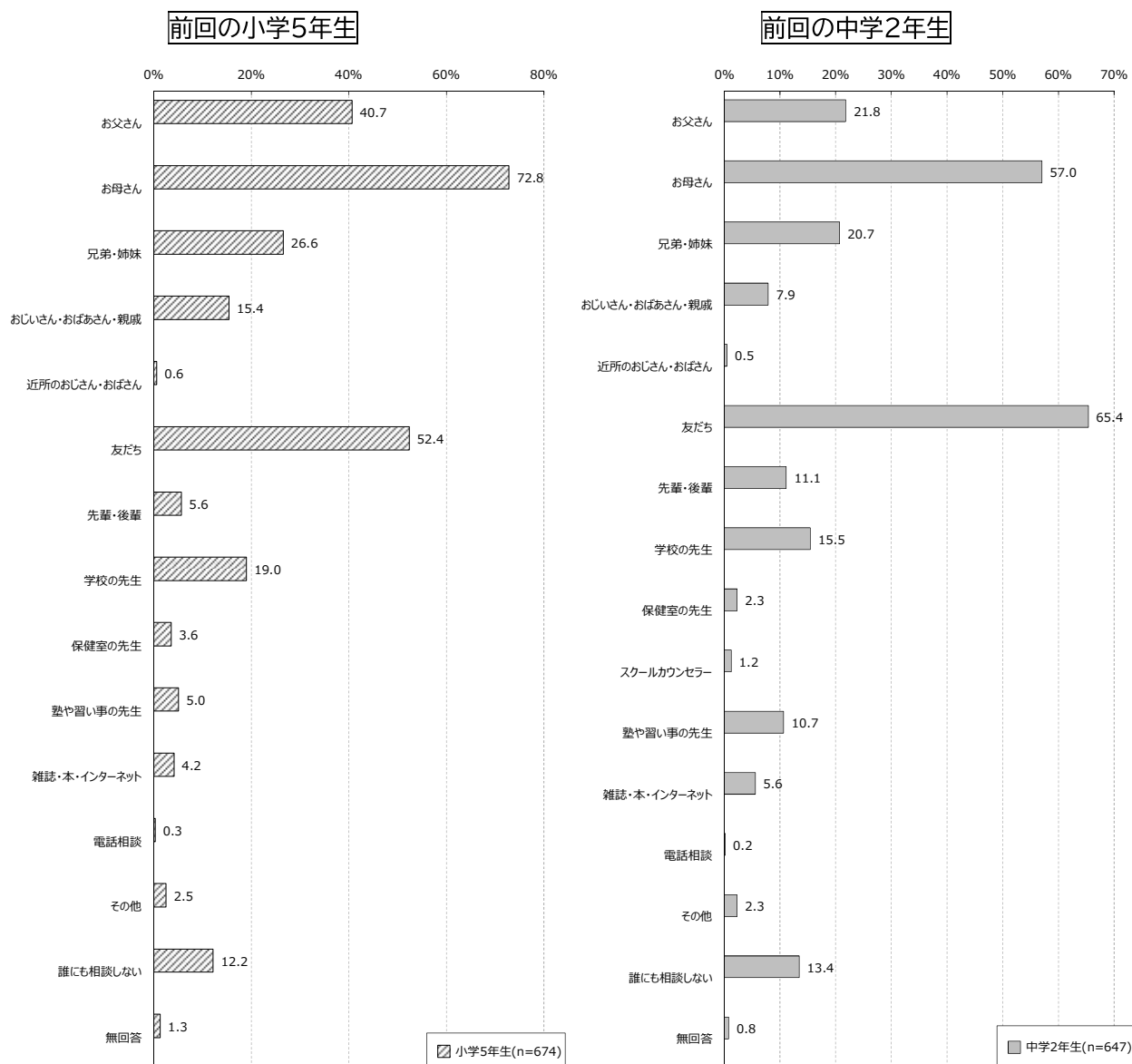
「お母さん」が65.0%と最も多く、「友だち」が59.9%、「お父さん」が33.5%、「兄弟・姉妹」が23.9%、「学校の先生」が23.6%。

困難を抱えながらもSOSを発信できていない状況の考えられる「誰にも相談しない」が小学5年生で12.5%、中学2年生で11.8%となっている。



家族、友達、学校の先生といった相談先の上位の傾向は前回調査と比較しても変化がみられない。

「誰にも相談しない」は、小学5年生では前回 12.2%、今回の 12.5%でほとんど変化がないが、中学2年生では前回 13.4%、今回 11.8%でわずかに減少している。



【参考】今回調査の問 21(相談する人)その他の主な記入内容

【小学5年生】困ったことがない (3) /ねこ/学童の先生/幼なじみ/相談相手がいない など

【中学2年生】野球チームの人 (2) /病院の先生 (2) /悩み事がない (2) /児童館の先生/子どもの相談サイト/自分で解決できる など

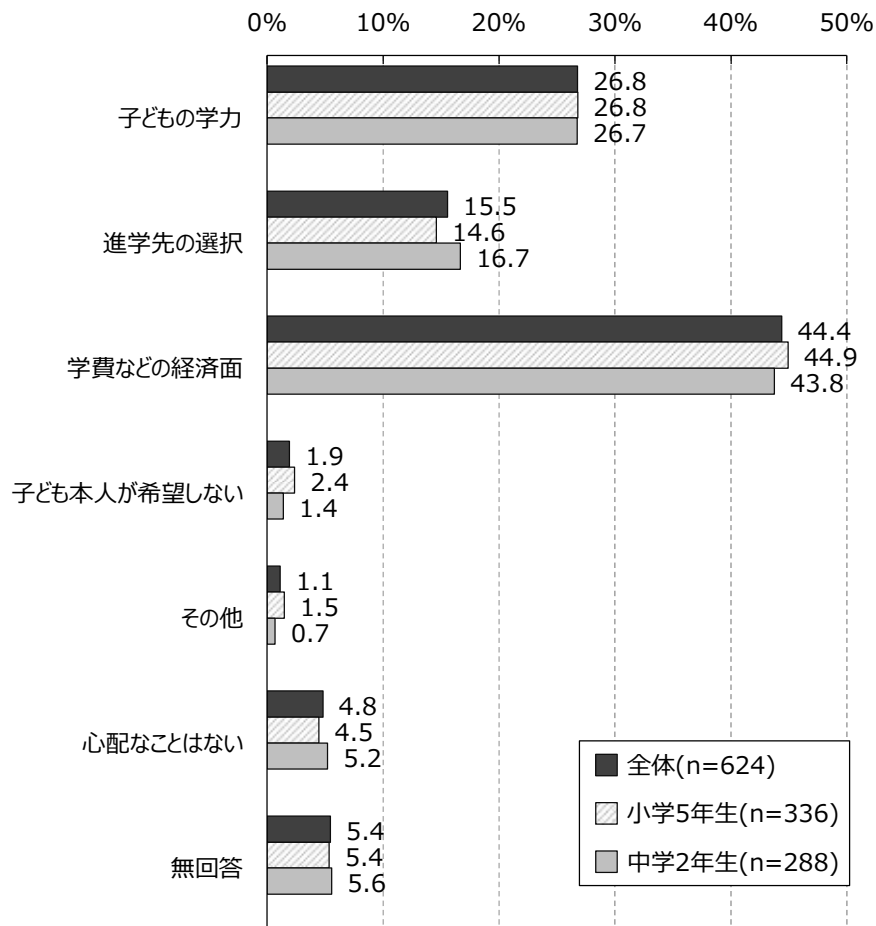
子育てや教育に関する経済的負担の軽減

子どもの進学に際して心配なこと

【小5中2保護者】

問 22 お子さんを将来進学させたいと思う学校に進学させる際に、最も心配なことは何ですか。

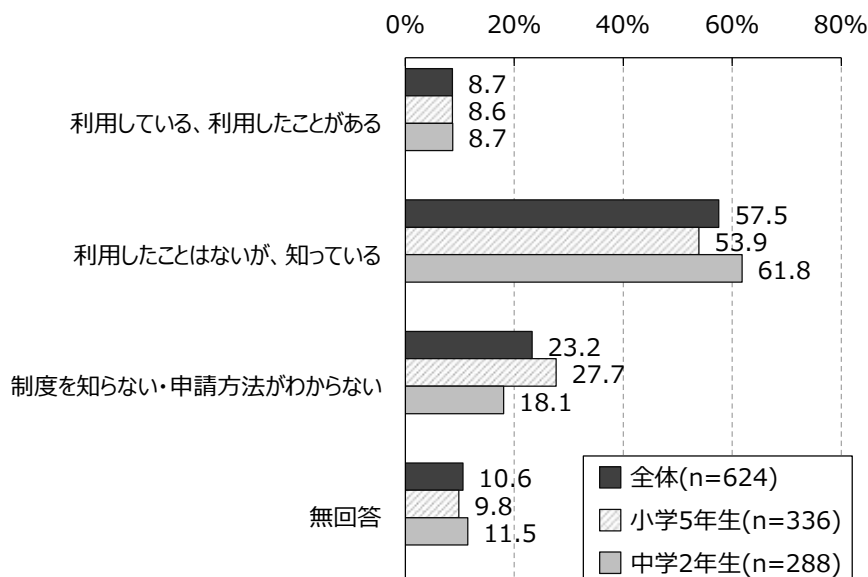
「学費などの経済面」が44.4%と最も多く、「子どもの学力」が26.8%、「進学先の選択」が15.5%と続いている。進学に関しての経済的な心配が大きい。



問 27 あなたの世帯では、次の公的制度を利用したことがありますか。

③ 就学費援助

「利用したことはないが、知っている」が57.5%と最も多く、「制度を知らない・申請方法がわからない」が23.2%、「利用している、利用したことがある」が8.7%。

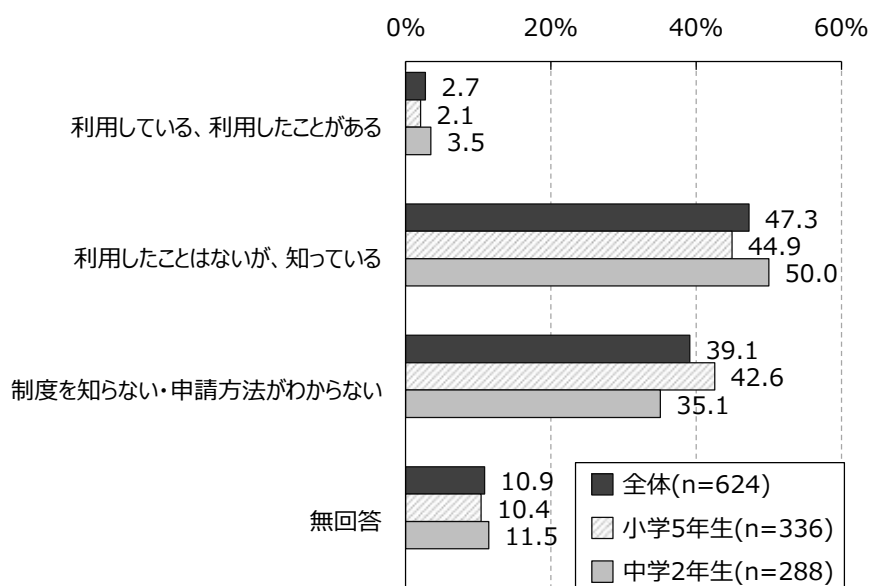


問 27 あなたの世帯では、次の公的制度を利用したことがありますか。

⑦ 奨学のための給付金

「利用したことはないが、知っている」が47.3%と最も多く、「制度を知らない・申請方法がわからない」が39.1%、「利用している、利用したことがある」が2.7%。

「③ 就学費援助」「⑦ 奨学のための給付金」ともに経済面での要件があり、利用割合は低いですが、利用したことのない人でも制度の認知そのものが低いわけではない。

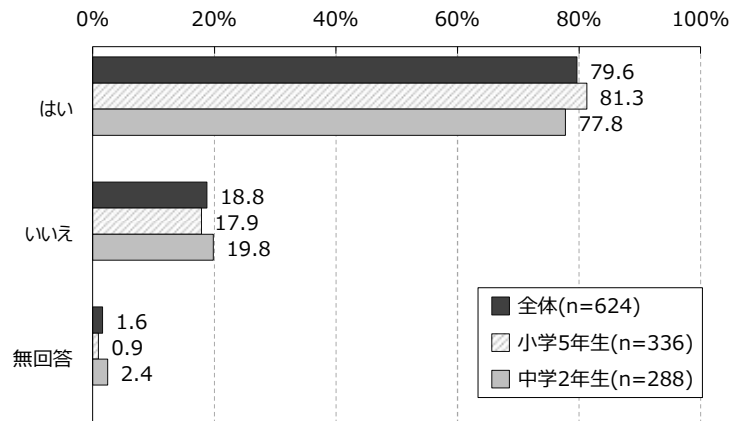


無料の学習支援の利用意向

【小5中2保護者】

問 11 無料の学習支援があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。

「はい」が79.6%、「いいえ」が18.8%。所得ライン別にみると、「はい」は所得ライン以上の世帯に比べ所得ライン未満の世帯で2.9ポイント高くなっている。



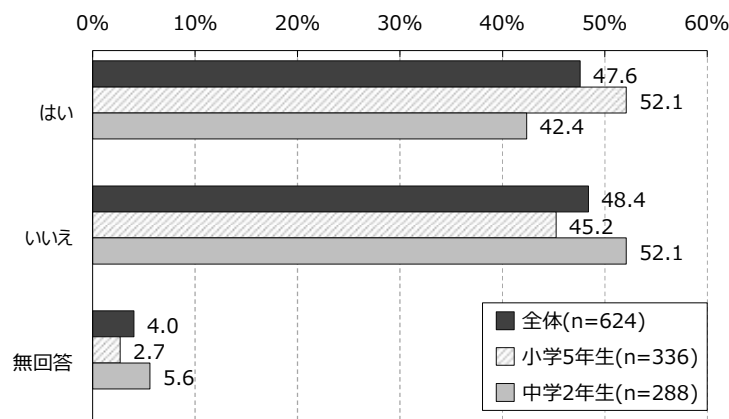
	合計	はい	いいえ	無回答
全体	624	79.6	18.8	1.6
所得ライン未満の世帯	45	82.2	15.6	2.2
所得ライン以上の世帯	526	79.3	19.8	1.0

子ども食堂の利用意向

【小5中2保護者】

問 12 地域の方たちが主体となって無料または低額で食事を提供するコミュニティの場（子ども食堂）があったら、利用したいと思いますか。

「はい」が47.6%、「いいえ」が48.4%。所得ライン別にみると、「はい」は所得ライン以上の世帯に比べ所得ライン未満の世帯で26.2ポイント高くなっている。



	合計	はい	いいえ	無回答
全体	624	47.6	48.4	4.0
所得ライン未満の世帯	45	71.1	28.9	0.0
所得ライン以上の世帯	526	44.9	51.0	4.2

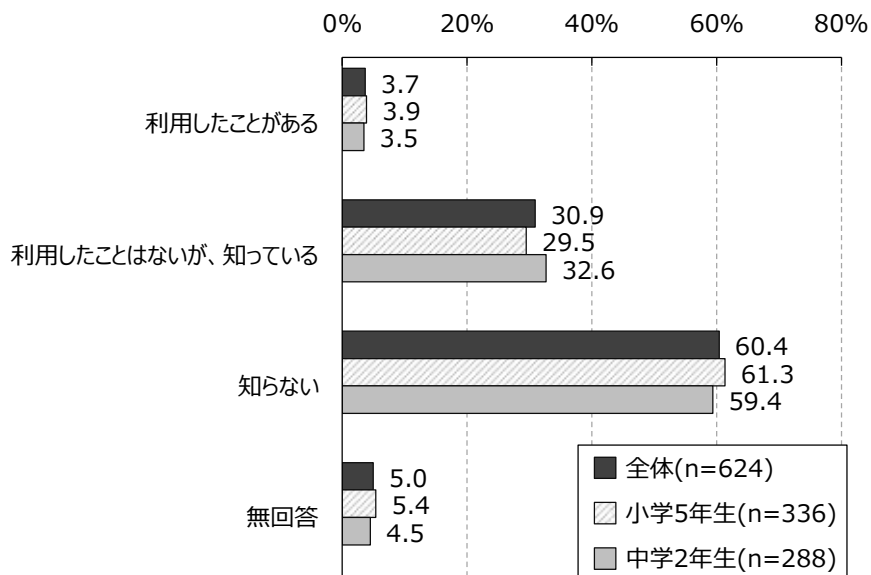
家庭教育に関する学級・講座の利用

【小5中2保護者】

問 28 事業のそれぞれについて、「現在の利用状況」のあてはまる番号1つに○をつけてください。

② 家庭教育に関する学級・講座

「知らない」が60.4%と最も多く、次いで「利用したことはないが、知っている」が30.9%、「利用したことがある」が3.7%となっている。



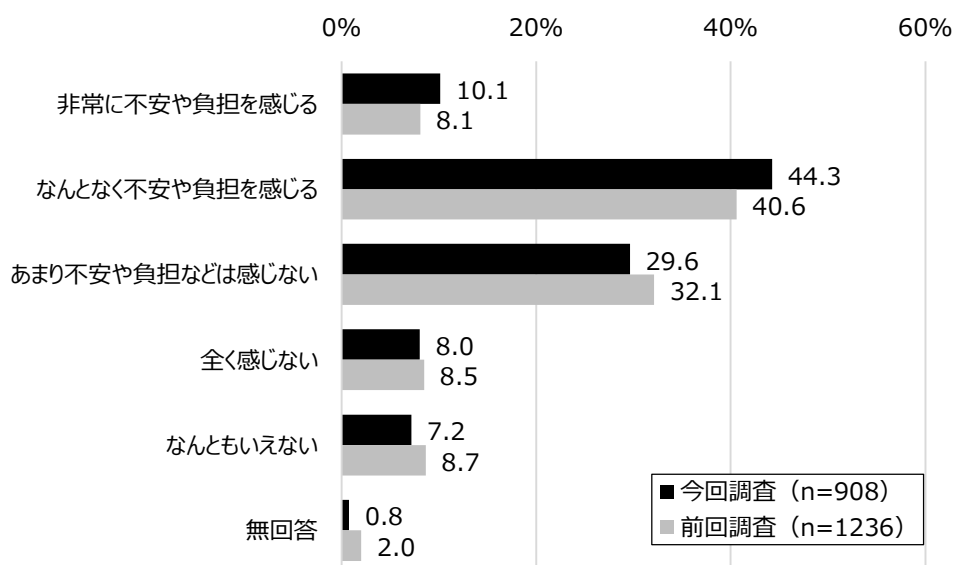
子育てに関しての不安感や負担感

【就学前保護者】

問 37 子育てに関して不安感や負担感などは、感じていますか。

「なんとなく不安や負担を感じる」が44.3%、「あまり不安や負担などは感じない」が29.6%、「非常に不安や負担を感じる」が10.1%、「全く感じない」が8.0%。

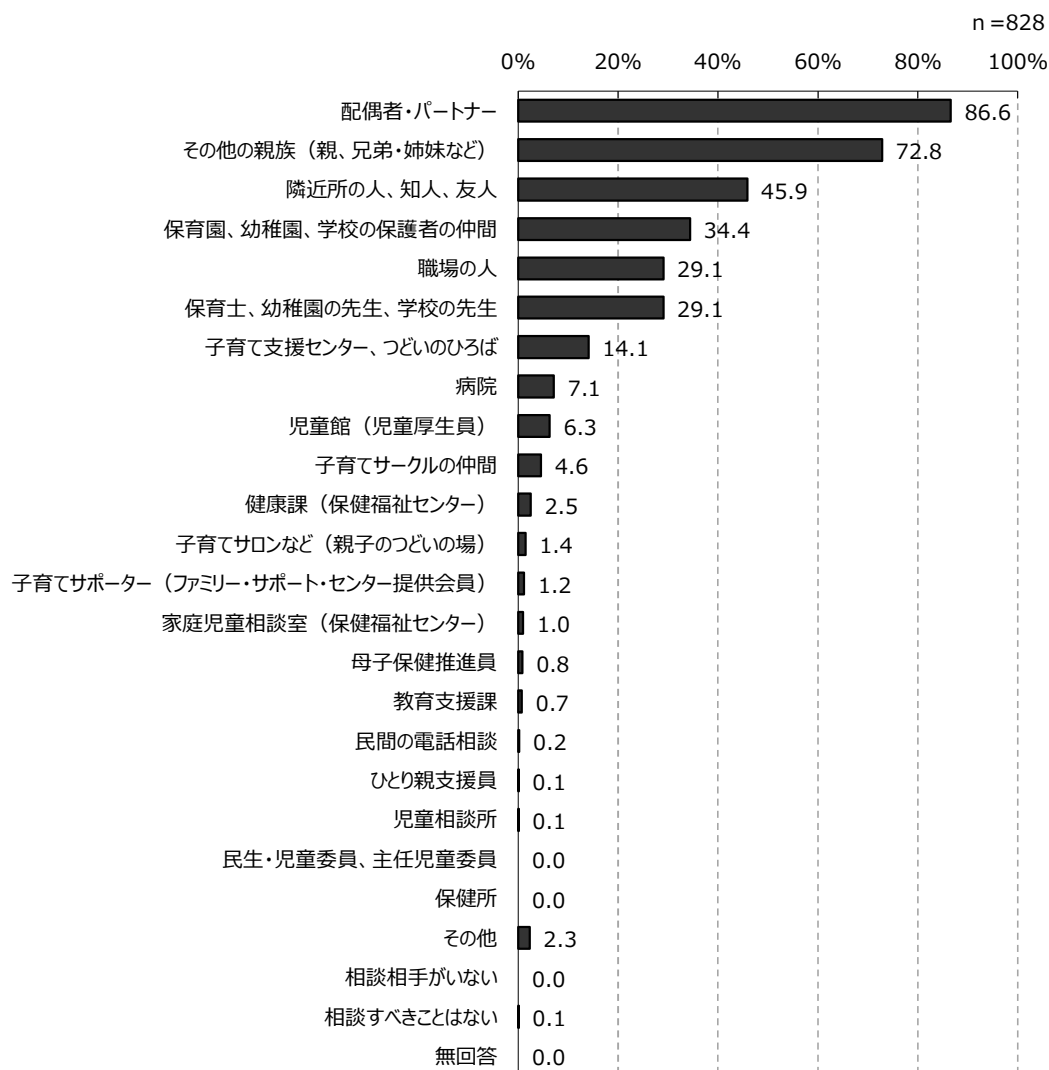
前回調査から、傾向に大きな差はみられないが、「非常に・・・」「なんとなく・・・」とも不安や負担を感じる人が増加している。



問 10-1 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。(複数回答)

問 10 の、子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人がいるか、相談できる場所があるかで、「いる／ある」と回答した 91.2%（828 人）への質問。

「配偶者・パートナー」が 86.6%と最も多く、「その他の親族（親、兄弟・姉妹など）」が 72.8%、「隣近所の人、知人、友人」が 45.9%、「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」が 34.4%、「職場の人」「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」が 29.1%。



【参考】その他の主な記入内容

スポーツ少年団所属チームの保護者／習い事の先生／同じ習い事をしている子どもの保護者／スクールの先生／看護師さん／成人している子／ママ友／SNS／民間療育施設の保育士や職員／すくすく相談／子ども発達センター など

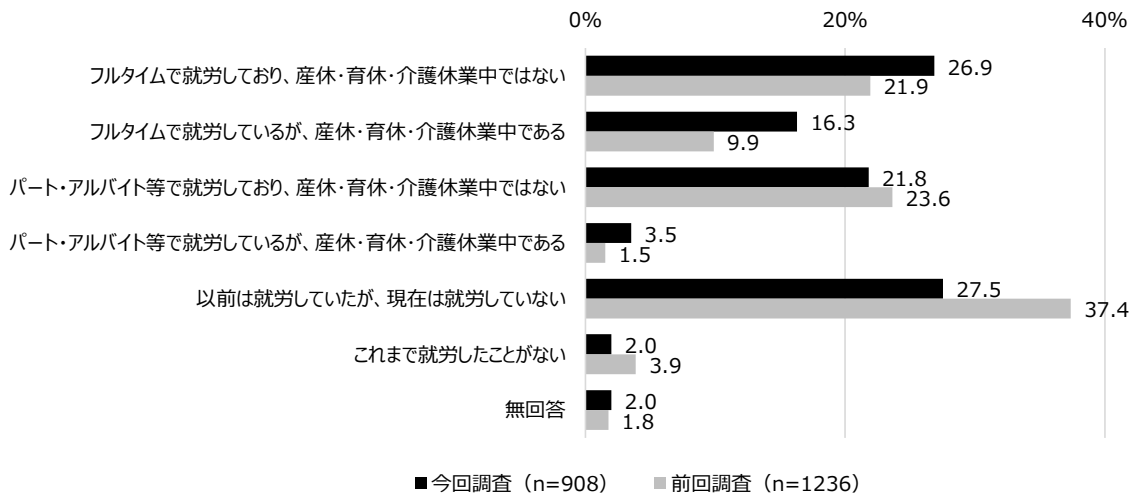
母親の現在の就労状況

【就学前保護者】

問 11 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.5%と最も多く、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.9%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が16.3%。

前回調査と比較すると、フルタイムで就労している母親が増加している。



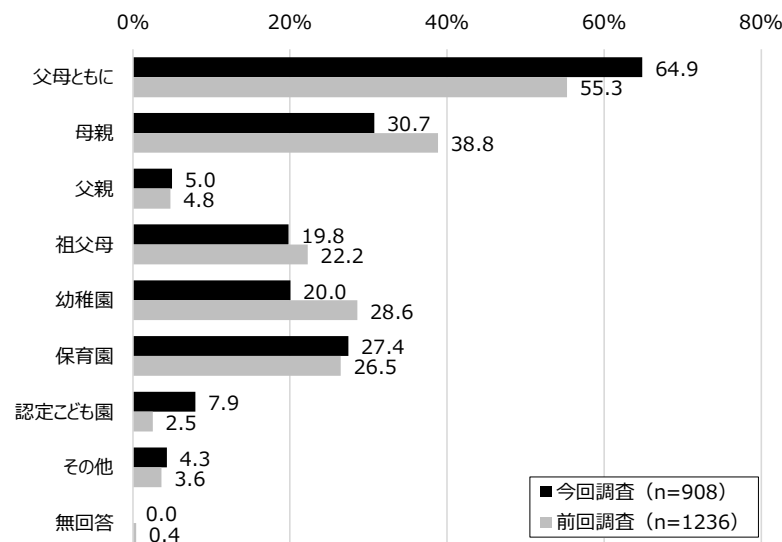
子育てに関わっている人

【就学前保護者】

問 8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係でお答えください。（複数回答）

「父母ともに」が64.9%と最も多く、次いで「母親」が30.7%、「保育園」が27.4%、「幼稚園」が20.0%、「祖父母」が19.8%。

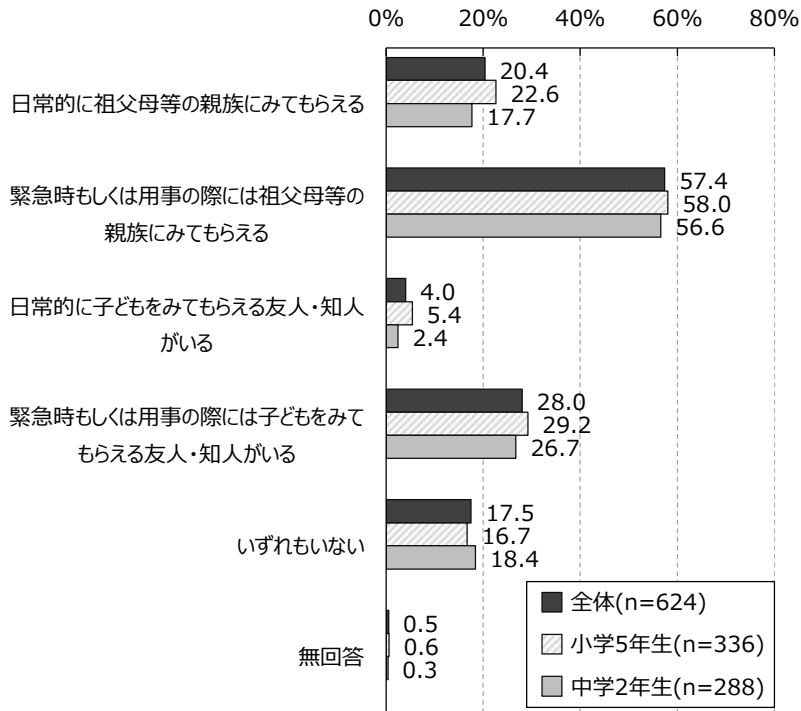
前回調査と比較すると、「父母ともに」は9.6ポイント増加し、「母親」は8.1ポイント減少している。「父親」にほとんど変化はみられないが、母親のみではなく父母が協力しての子育てが増えている。



問6 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人等はいますか。(複数回答)

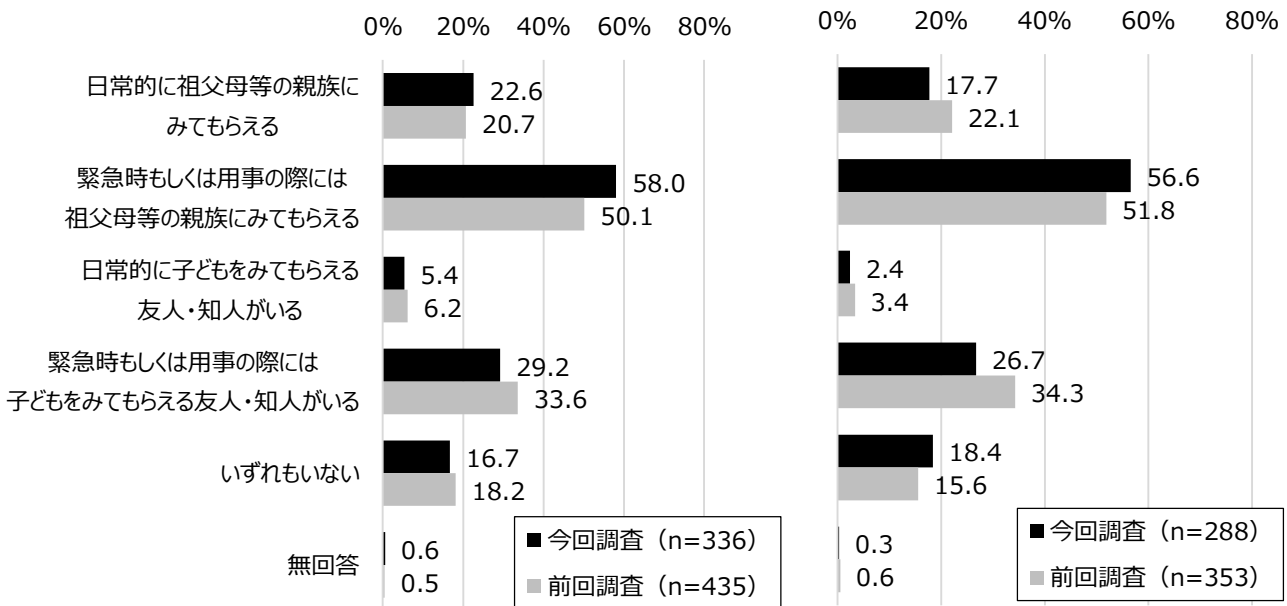
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.4%と最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が28.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が20.4%、「いずれもない」が17.5%。

前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が小学5年生では7.9ポイント、中学2年生では4.8ポイント増加し、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は小学5年生、中学2年生ともに減少している。



小学5年生

中学2年生

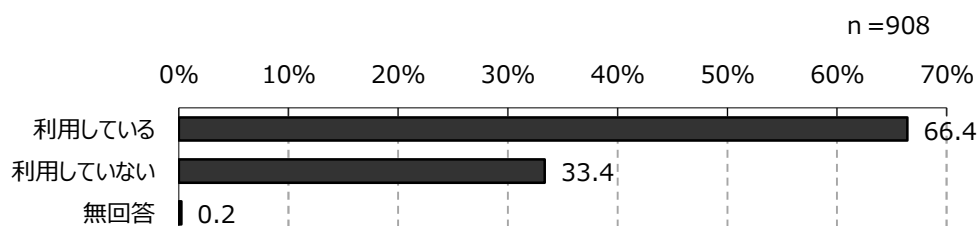


平日の定期的な教育・保育の事業の利用

【就学前保護者】

問 13 お子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

「利用している」が66.4%、「利用していない」が33.4%。約3割が家庭保育となっている。



平日の定期的な教育・保育事業利用の内容

【就学前保護者】

問 13-1 お子さんは、平日どのような「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。年間を通じて利用している事業をお答えください。(複数回答)

「認可保育所」が34.7%と最も多く、「幼稚園」が29.0%、「認定こども園」が17.9%、「幼稚園の通常利用+預かり保育」が11.8%。

前回調査と比較すると、「幼稚園」は18.6ポイント、認可保育所は4.9ポイント減少し、認定こども園は12.6ポイント増加している。児童数の減少による影響や、認可保育所から認定こども園への移行の影響がうかがえる。

